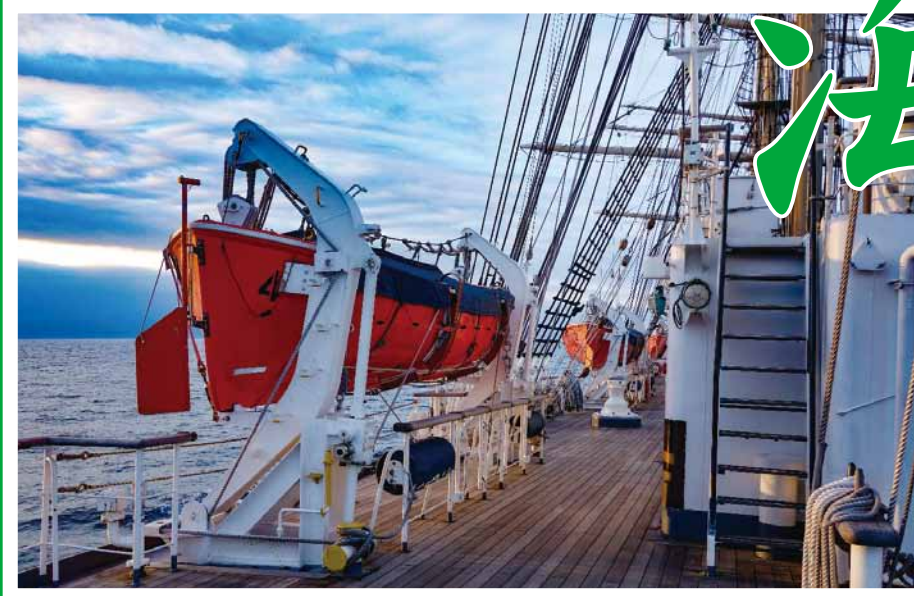


vol.41 mar. 2024



拓海

「海」を切り開く匠の業と心

CONTENTS

2023年度 旅立ち 卒業特集	
卒業生・修了生のみなさんへ	3
卒業生・修了生から在學生へ	7
卒業、修了する先輩留学生から在學生へ	11
退職の年を迎えて	12
大学院紹介	17
国際交流プログラム	18
業界で活躍しているOB・OGの方々	20
海鷹祭の紹介	23
新任教員の紹介	24
学生の課外活動報告	25
ニュース&トピックス	26
学生相談室からのお知らせ	29
お知らせ	31

◆2023年度 旅立ち

■卒業特集

◎卒業生、修了生のみなさんへ

「マインドセット」	井関 俊夫……③
卒業生・修了生の皆さんへ	後藤 直宏……④
卒業生・修了生のみなさんへ	元田 慎一……⑤
羽ばたく君達へ	宮本 佳則……⑤
社会科学の視点から	兵藤 哲朗……⑥

◎卒業生、修了生から在学生へ

好奇心の先で出会うもの	後藤 瑛美……⑦
在学生の皆様へ	飯泉恵美加……⑧
在学生の皆さまへ	長野 董……⑧
大学という最高の環境で	山下 彩希……⑨
コロナに振り回されて	青島 広夢……⑨
研究を通じて	小嶋 佑芽……⑩
国際的な視点を持って	小林 海斗……⑩

◎卒業、修了する先輩留学生から在学生へ

留学生の皆さんへ	繆 俊 傑……⑪
----------	----------

■退職の年を迎えて

定年を迎えて	松川 真吾……⑫
定年にあたり	岩坂 直人……⑫
定・年・退・職	竹本 孝弘……⑬
天気晴朗なる「定年」という港を前に	
	逸見 真……⑬
徒然なるままに研究三昧	今野 均……⑭
世界で唯一の花	渡邊 豊……⑮
出会いに導かれて	石田 真巳……⑮
40年を振り返って	野田 明……⑯

■大学院紹介

食品流通安全管理専攻	柴田真理朗……⑰
応用生命科学専攻	久田 孝……⑰

■国際交流プログラム

QCEANOUS Plus Programに参加して	
	森田 千尋……⑱
若いうちに海外で社会に触れることの意味	
～1ヶ月のシンガポール滞在を通して～	
	安永 和矩……⑲
海外探検隊に参加して	金井 郁磨……⑲
海外インターンシップを経験して	
	小宮 琉聖……⑲

■業界で活躍しているOB・OGの方々

プロジェクトを担当して5年目になります

	杉山 茂……⑳
海の切り口	土橋陽一郎……㉑
在学生へ向けて	相田 紗織……㉒

■海鷹祭の紹介

第64回海鷹祭を終えて	平山 創悟……㉓
-------------	----------

■新任教員の紹介

海事システム工学部門	木村 公彦……㉔
海洋資源エネルギー学部門	草野 行弘……㉔

■学生の課外活動報告

オーケストラ部	宮地 映名……㉕
女子サッカー部	沖田 彩織……㉕

■ニュース&トピックス

- ・「海の日」記念行事を開催しました …………… ㉖
- ・2023年度海洋工学部父母等懇談会 …………… ㉗
- ・品川キャンパスの父母等懇談会 …………… ㉗
- ・令和5年度9月期学位記・修了証書授与式を
挙行了しました …………… ㉗
- ・令和5年度10月期入學式（大学院）を
挙行了しました …………… ㉘
- ・令和5年度9月期学生表彰授与式を行いました
…………… ㉘
- ・令和5年度サークルリーダーシップ研修会を
開催しました …………… ㉘

■学生相談室からのお知らせ

- ・学生相談室について …………… ㉙
- ・学生相談体制について …………… ㉙

■お知らせ

- ・就職支援体制について …………… ㉚
- ・国立科学博物館および
国立美術館の利用について …………… ㉚
- ・緊急時連絡システムについて …………… ㉛
- ・ネットワーク障害防止のための注意事項 …………… ㉜
- ・悪質な就活商法に関する注意喚起 …………… ㉝
- ・東京海洋大学校友会のご案内 …………… ㉞
- ・掲示板 …………… ㉞

表紙写真（疾走）

「初めての船舶実習も終わりに近づき、ゆっくりと、しかし着実に下船地に向け進んでいく。あと数日すれば懐かしく思うはずの景色を記録していく。」 越中島写真部

2023年度 旅立ち

卒業特集

卒業生、 修了生のみなさんへ

「マインドセット」

学 長
井 関 俊 夫

卒業、修了を迎えた皆さん、おめでとうございます。力強く社会に旅立つ皆さんに心からのエールを送ります。昨年の5月にコロナ禍は一応の収束を迎え、ある人は心機一転、辛かった記憶とは決別することでしょうし、またある人は耐え抜いた日々の記憶を貴重な財産として心の引き出しに入れておくのかもしれませんが、いずれにしても、経験値の上がった自分を信じて、新しい環境で思う存分頑張ってください。

ところで、記憶といえば、昨年末に「思い出せない脳」(澤田誠著：講談社現代新書)という本を読みました。その本の帯に書かれたコピー「頭の中には『ある』のに、なぜ出てこない？」のような、思い出そうと努力すればするほど思い出せなくなる理由を知りたいと思ったからです。このような症状は「検索誘導性忘却」と呼ばれるようで、先に思い浮かんだ記憶が邪魔をして、本当に思い出したい記憶が出てこなくなる現象だそうです。脳の劣化だけが原因ではないと知り少しホッとしました。私たちの脳の動きとして「周辺抑制」というものがあり、目的の記憶に集中するために、類似した記憶が出てくることを抑える機能があるそうです。目の前の危機を回避するときに、次々と余計な記憶に出てこられては困るということです。そもそも、生物の記憶は未来の生存確率を上げるためにあるようで、多くの記憶の影響を受ける「マインドセット」はその人の個性そのものだそうです。この「マインドセット」とは心理学用語で、考えや行動



を左右する判断基準のようなもので、簡単には「思考の癖」とも説明されるそうです。認知心理学や発達心理学では、「性格は記憶によって作られる」という考え方もあるようで、良い経験をすると積極的な性格になり、悪い経験をすると慎重な性格になるとも言えそうです。主に幼児期の対人関係の記憶の痕跡が私たちの性格を形作るということですが、大人になってからの経験も性格や行動様式に影響を与えていると思います。したがって、

3年半つづいた新型コロナウイルスのパンデミックは全世界の人々のマインドセットに影響を与えた可能性は十分にありえることです。

昨年の11月末から12月中旬にかけて、アラブ首長国連邦のドバイにおいてCOP28（国連気候変動枠組条約第28回締約国会議）が開催されました。産油国での初めての開催でしたが、パリ協定の実施状況を評価するための仕組み（GST）が初めて決定され、気候変動被害に対する資金支援組織や再生可能エネルギー関連の合意もなされました。その前のCOP27ではCO2排出削減や化石燃料の使用削減に向けた取り組みには進展がありませんでしたし、COP26では石炭火力の「段階的廃止」が「段階的削減」に後退してしまったことを考えると、COP28では注目すべき成果が多数得られたこととなります。COP28の議長を務めた、UAE 産業・先端技術相でありアブダビ国営石油会社CEOのアル・ジャベル氏の手腕が優れていたのかもしれませんが、背景にはCOVID-19パンデミックによる各国代表のマインドセットの変化があったのではないかと考えています。

4 経験や体験に基づいた記憶で、時間や場所の他、その時の感情などを伴う記憶は「エピソード記憶」と呼ばれ、私たちの脳内に長く保存されるそうです。「エピソード記憶」では映画の一場面のようにその時の情景や気分がもやもやと浮かぶのですが、時間・場所・感情など、その記憶を呼び出すための糸口が複数あるので、意識していなくても、ふとしたことから頭に蘇って来たりするそうです。したがって、具体的な経験はそれぞれ異なるとしても、3年半のコロナ禍を耐え抜いたことが全世界の人の脳にエピソード記憶として格納されていれば、COP28のような地球的規模の難題を解決する場で、前向きなマインドセットとして現れた可能性は高いと思います。

コロナ禍を耐え抜き、前向きなマインドセットとなった人々が住む世界では、これまでは意見が対立していた相手に対しても、お互いを慮って合意に達することができるかもしれませんし、分野の異なる人と協調して新しい成果を収めることができるかもしれません。そのような世界で、皆さんがどのような人と出会い、どのように協力し合い、どのような未来を切り拓くのが大変楽しみです。東京海洋大学の教職員一同は、皆さんが世界中で活躍されることを心から願っています。

卒業生・修了生の皆さんへ

海洋生命科学部長

後藤直宏



卒業・修了おめでとうございます。東京海洋大学での学生生活を満喫できましたでしょうか？どうか皆さんがこれ

から社会に飛び出す際には東京海洋大学での経験を大いに活かしていただきたいと心より願っています。そして、日本や世界で充実した日々を送ってください。

大学で学んだことや経験したこと、それらを将来の人生にどう活かすか。学問だけでなく、自己の在り方、人間関係の築き方、これら全てが皆さんの宝物になるはず。時には「どうしたらよいのだ？」と思うような難題に出くわしたりもしていないでしょうか？私自身も振り返れば、学生時代の経験がその後の人生の基盤となっていることを感じます。皆さんがこれから出くわす課題には必ずしも正解が用意されていませんし、答えも1つとは限りません。むしろ、複数の可能性が広がっていることが多いものです。では、どうしましょうか？そのような時、東京海洋大学で身に付けた様々な能力や経験がきっと皆さんの支えになることでしょう。東京海洋大学では答えの用意されていない課題に果敢に挑み、自己の思考力を磨き、解決策を導き出すような人間に成長することを目指して教育してきました。そして、卒業生・修了生はそのような人間として大学を離れていくものと確信しています。皆さんには、東京海洋大学を卒業・修了した誇りを胸に、自信を持って社会に羽ばたいて行っていただきたいと心から願っています。

一方で皆さんの今後の活躍や成し遂げたことが、東京海洋大学卒業生・修了生の功績として社会に刻まれていくことを心に留めてください。皆さんの活躍が母校である東京海洋大学の社会的な評価に寄与するのです。つまり、東京海洋大学を一流の存在として築くのは、これからの皆さんの肩に掛かっていると言っても過言ではありません。その意味でも今後の継続的な努力、そして更なる活躍を期待する次第です。

卒業・修了を迎えた喜びと期待がこれからの人生をより一層輝かせることでしょう。これからも道は続きます。頑張ってください！

卒業生・修了生のみなさんへ



海洋工学部長
元田 慎一

卒業生のみなさん、おめでとうございます。いま、みなさんは大学生活を終えて社会に飛び込むことになり、また、一部の方は大学院に進学されることになり期待と不安が入り混じった気持ちでしょう。みなさんは入学時からコロナ禍での不自由な学生生活を過ごした学年です。学生らしい生活は最後の1年間だけでしたので、卒業に当たって学生生活への思いはひとしおだと思えます。しかし、私はみなさんが本学での学びから海洋大スピリットを身に付けているものと確信します。海洋大スピリットとは何でしょうか？ そのひとつは本学の教育目標である「実学主義」を体感していることでしょう。実学主義とは、3現（現実、現物、現場）を重んじる理念で、実際に現場に行って5感で状況を認識し、理論的に検証して最適な解決手法を立案する考え方です。みなさんは実際の「海」や「船」がYoutubeの動画とは全く違うことを体験したはず。生成系AIが実装化された2024年ですが、インターネット上に存在するデータに依存するAIに対応出来ない事象が多くあることをみなさんは理解できると思います。これを思い出して本学で学んだ「実学主義」の理念を考えてみてください。もう一つのスピリットは、本学で得た友人、先輩・後輩たちとの交流関係です。部活に入らなくても様々なイベントで人との交流があったのではないのでしょうか？このような、横だけでなく縦の繋がり、あるいは先生や同窓会との繋がりがあることも本学のよき伝統だと思います。

さて、最近では大学卒業後の3年離職率が30%を超えられていると言われていますが、Z世代と呼ばれるみなさんの価値観や労働観にそれ以上の世代が対応できないこと、目先の利益主義のため社員の育成に余裕がなく、新入が入社直後から成果を求められることで不本意離職が増えていると考えられます。では不本意離職を乗り越える手立ては何でしょうか？それは気の乗らない与えられた仕事であっても、とりあえず興味を持つこと、そして会社の内・外で自分のチームを作って仕事に対応することにあるように思います。給料も大事ですが、それだけで解決するものではありません。解消方法は、やはり一人で不満や悩みを溜めないこと、同じ仕事なら面白がってやってみることだと思います。卒業研究や大学院の研

究が夜遅くまで何日も続けられたのは、研究室での先輩後輩や同期生と相談しながら競ったからではありませんか？研究テーマに自分から興味を持って取り組める「面白い」と思える要素があったからではないでしょうか。もし会社に入って悩んだら、このような本学で得た経験を思い出してみてください。

他大学では絶対に経験できない「海」や「船」にかかわる実学を学んだことは本学卒業生である皆さんのAdvantageです。どうか海洋大卒に誇りを持って今後の人生を歩んで下さい。そして仕事が一段落したら、新たな縦の繋がりを作り大学に足を運んで下さい。皆様のご活躍を心からお祈りいたします。

羽ばたく君達へ

海洋資源環境学部長
宮本 佳則



卒業・修了おめでとうございます。大学生をコロナ禍で過ごした皆さんは、大学生活を楽しめたでしょうか？授業も遠隔、友達も作れないし会えないなど誰もが経験したことのない状況でした。ある意味貴重な経験で、これからの人生で二度とあいたくない状況だったかと思えます。そんな大学生活の中で、ようやく最終年度、友人達や研究室のメンバーと顔を見ながら会話や議論ができた貴重な年になったと思います。良い思い出だけでなく、辛い思い出もあるでしょう。このような変則的な大学生活の中で何か得るものはあったでしょうか？卒業論文の研究、ゼミでの発表、研究室での先輩や同輩との交流などから、中学、高校時代とは異なった、深い議論や意志交流ができたと思います。大学時代の交流は、これから社会に出て時間が過ぎるほどに重要な意味を持つことになります。例えば数年、十数年の間連絡がなかったとしても、大事なタイミングで再び出会うことがあります。なんの因果かは分かりませんが、大学時代の人との繋がり（同級生、先輩、後輩、そして先生）と言うものは不思議な縁があることを私は痛感しています。全く予想していなかったタイミングで、まさかこんな場所と。思いがけない再開は、“久しぶり”の挨拶もなしに、今までもずっと連絡をとっていたように会話することがあります。また、これから社会に羽ばたく君達には、様々な困難と喜びが待っています。時には悲し

みもあるでしょう。その中でふとした時に頼れるのが、やっぱり大学時代の先輩、後輩、友人です。（先生も少しは頼りになるかな。）君達の羽ばたきがこれからの社会を支えます。卒業と言う別れの場とは相反する言葉ですが、これまでの出会い、これからの出会いを大切にしてください。

社会科学の視点から



海洋科学技術研究科長
兵藤 哲朗

大学院を修了される皆さん、まずはおめでとうございます。コロナ禍も収まり、実りある研究生活を送ることができたと思います。また、海外における学会発表についてみれば、この2年間は脱コロナの時期でもあり、海外渡航の機会を得た方も多いでしょう。しかし円安や物価高で渡航の経済負担は激増しました。当方からも、送り出してくれた指導教員に改めて御礼申し上げます。

さて、この2～3年ほどでも、2021年2月のキャンペー軍クーデターに始まり、2021年8月タリバンのアフガニスタン制圧、2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻、2023年10月からのハマス・イスラエル戦闘…と世界の政情は極めて不安定化しています。「修士

号」「博士号」を取得した皆さんは、自然科学（Natural Science）や工学（Engineering）の巧みな目線をお持ちでしょうが、この状況をその視点から解読することは難しいでしょう。この解釈には社会科学（Social Science）の知見が必要と思います。例えば、フランスの貴族社会に生まれた政治思想家・政治家のトクヴィルは、1830年代初頭、20代のときに建国50年を過ぎた若いアメリカを詳細に見聞し、書籍によりその成果を公開しました。彼の発見の一つは、貴族社会とは無縁で平等な社会においては、市民は少しの不平等に敏感になり、結果として専制政治に行き着いてしまうのでは…ということでした。現代でもその見識がいきているように思われます。1991年のソ連崩壊により、自由民主体制の永続と繁栄が期待されましたが、人間により運営される「社会」というものは、一定の法則や数式で理解できるものではなく、社会科学の力を借りる場面も少なくないようです。

皆さんが得た「学位」を基礎として人生を切り開くのはもちろんですが、世界の状況を理解するもう一つの切り口も是非、身につけて頂きたいと思います。インターネットの情報洪水から一歩身を引いて、自分の思考と静かに向かい合う時間も大切にしてください。

Bon voyage !



2023年度 旅立ち

卒業特集

卒業生、 修了生から在学生へ

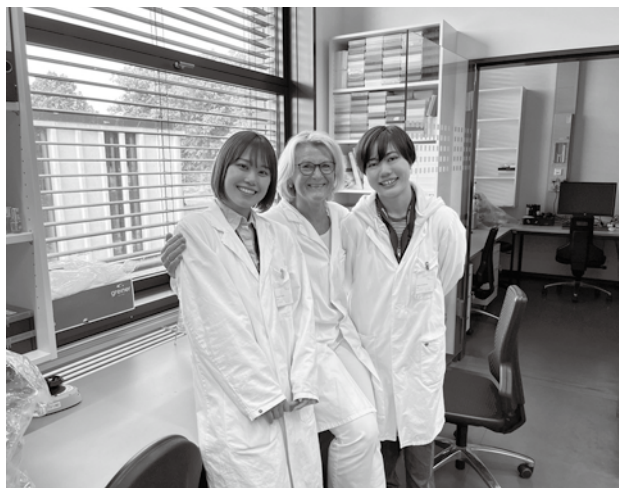
好奇心の先で出会うもの

海洋生命科学部 海洋生物資源学科4年

後藤 瑛美

「大学生活悔いのないように、やりたいことに取り組みましょう!」というような言葉を4年間で度々耳にしてきました。在学生の皆様もきっと同じではないでしょうか。しかし私はずっと、何か1つ光る「やりたいこと」が見つけれないまま過ぎていく日々には焦りを感じていました。

恥ずかしながら私は、皆様の模範となるような、能動的で活動的な学生ではなかったと思います。知人に誘われるまま興味があった委員会に入り、就活より実習の方が楽しいと進学を決め、研究室選びではやりたい研究を決めきれないまま、授業が面白かったところに決めました。しかし振り返ってみると、海鷹祭で一からオンライン販売を企画したり、研究室の先生の勧めでドイツへ1か月間派遣されたりと、その時々には心惹かれて進んだ

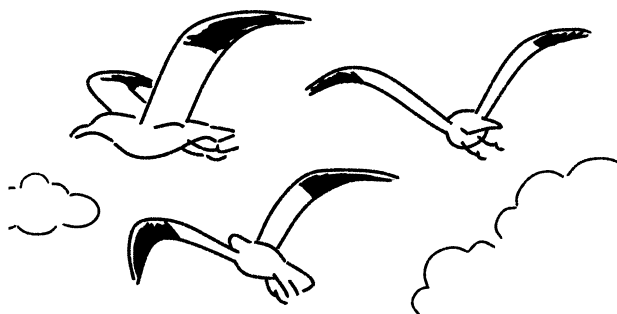


ドイツFriedrich-Loeffler-Institutにて (筆者左)

先で貴重な体験をし、大切な思い出ができた大学生活でした。研究室では、調べたいことや試してみたいことが次々に浮かんで来て、今では2つのテーマを掲げ、国際学会や論文での発表を目標として研究に励んでいます。

私にとって「やりたいこと」はいつも、探して見つけるのではなく、好奇心に導かれた先にだんだんと浮かび上がってくるものでした。そしてなによりの幸運は、少し興味の偏った仲間が集まる海洋大という環境と、私の好奇心に共感し、協力し、評価してくれる周囲の存在だったと思います。

在学生の皆様へ、はじめから立派な「やりたいこと」がなくてもかまいません。ただ、自分の好奇心にはどうかブレーキをかけないでください。純粋な興味ほど大きな原動力となりますし、いつか強みになるかもしれません。そして、その先でたくさんの大切な思い出や、素敵な仲間と巡りあえることを願っています。



在学生の皆様へ

海洋生命科学部 食品生産科学科4年

飯 泉 恵美加

コロナ禍に見舞われた2020年から早4年が経ち、あっという間に卒業を迎えることとなりました。もちろん楽しいことばかりではなく、入る大学を間違えたのではないかと思うこともありましたが、不自由さを感じながらも実りあるものにできたのではないかと考えています。そんな短い大学生活の中で、おすすしたいことを私なりに考えたので、これを読んでくれている皆様にとって少しでもお役に立てればと思います。

大学生活を送る上でおすすしたいことは「何事も前向きにひとまずやってみること」「物事の原因を考えること」の2つです。コロナ禍で入学前に想像していた大学生活とはかけ離れた生活でしたが、キャンパスライフが送れなくても、実習や実験がオンラインになってしまっても、前向きに取り組めば得られるものは沢山あります。これは学生生活に限らず、アルバイトや人間関係、就職活動も同じです。この4年間を通して、嫌だと感じることも、一度取り組んでみなければ得られるものも得られないと感じました。また、やってみてもダメだった場合、ダメだったということがわかっただけでも十分な成果です。それが自分にとってなぜダメだったのか、原因を考えることで自分との向き合い方や長所が見つかると思います。

最後に、想像よりずっと早く大学生活は過ぎてしまいます。限りある時間を十分に楽しんでください。皆様の今後が輝かしいものになるよう、心から願っています。



研究室にて (本人：写真1番左)

在学生の皆さまへ

海洋生命科学部 海洋政策文化学科4年

長 野 堇

私は高校2年の秋に大きく進路を変更し、東京海洋大学海洋生命科学部海洋政策文化学科を志望して入学しました。その当時は、まさか自分が海洋に関する勉強を行うとは思っておらず、「水産」という分野を見つけた時は、この道に進むべきか躊躇していました。しかし、家族や高校の恩師から、自分が学びたいものがあるのならば迷わず突き進むよう助言をいただき、思い切って挑戦することができました。

皆さんは大きな壁が目の前に立ちはだかった時、つい目を逸らし逃げたくなってしまったことはないでしょうか。私自身も大学入学後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を理由に様々な機会を諦めてしまい後悔しています。私たちは新型コロナウイルス感染症の影響により、貴重な学生時代の一部を奪われるような形になりました。今でもやるせない悔しい気持ちがありますが、大学3年次に所属する部活動の幹部になってからは、保守的過ぎた考え方を改め、規制の範囲内で最大限行動を広げるよう心がけ、充実した大学生活を送ることができました。だからこそ皆さんには、今しかない学生生活を充実して過ごして欲しいと願っています。

東京海洋大学では、様々な機会参加への情報が流れていますし、大学外まで視野を広げれば、さらに多様な機会への情報を得ることができます。勉強や研究だけではなく、部・同好会活動、講座やプログラムの受講、留学、勿論趣味なども、是非挑戦してみてください。その挑戦が、将来の自分をより幅広く豊かな人間にしてくれると思います。

残りの学生生活が充実するよう、皆さんのご活躍をお祈りしています。



東伊豆でのダイビングにて (筆者)

大学という最高の環境で

海洋工学部 海事システム工学科4年

山下 彩希

在学生の皆様は、どんな理由で大学に入学したでしょうか。就職に有利だから、みんなが行くから等あると思います。勉強し研究するための大学ですが、それを目的として入学する人は多くないと思います。私も、特に理由もなく大学生になりました。そして、船乗りになるために大学を変えここに来ました。新しい環境で、今までとは全く異なる分野を学んでいくうちに、これまで受けてきた授業はそこでしか学べない特別なものだったんだなと思うようになりました。例えば、窓の歴史について建築デザインの教授から講義を受けたことがありますが、今の学科のカリキュラムでは知ることができなかった知識でしょう。私が伝えたいことは「学問を究めることができる環境を謳歌してほしい」です。研究はもちろんですが、興味のある講義を受けてみる、講義内で気になったことを先生に聞いたり調べたりするだけでも十分です。自由に学び、研究ができることは大学生の特権だと思います。私はこれまで、300単位近くの授業を受けてきました。その中には、将来全く使わないであろう知識がたくさんありますが、それらは意外にも将来の自分が学ぼうとしてもなかなか手に届かないものだったりします。なぜなら私たちが教えてもらっているのは、その道の専門家だからです。さらに社会人になったら、時間とお金がないと勉強ができません。専門家からいろいろな話を聞くことができる今の機会に、ぜひ見聞を深めてみてはいかがでしょうか。

コロナに振り回されて

海洋資源環境学部 海洋環境科学科4年

青島 広夢

私が東京海洋大学に2020年3月に合格して、ほっとしたとたん、コロナがはやりだし、日本中が暗くなりました。まず大学の入学後のガイダンスもメールで、履修規則を説明された覚えがあります。2020年4月20日から大学生活が始まりました。7月末のフレッシュマンセミナーも遠隔でした。この1年生の時は、遠隔講義ばかりで提出物ばかり、友達もできず、家にいて、過ごしました。9月末に健康診断とガイダンスがあり、いきなり10月3日にTOEICのテストがありました。後期も講義が始まったら、またコロナで、試験はできず、提出物のみで採点された科目が多く、提出が苦手な私は苦労しました。2年生になってもオリエンテーションができ、また遠隔で講義を受けたり対面で受けたりとコロナの流行を見ながらの大学生活でした。あまり友達もできず、大学の講義は提出物ばかりで今から考えるとこの2年はいったい何だったのか、と思うだけです。ただ一つの成果は、私がフォッサマグナの日本の東側の旅行ができたことです。

今となってみれば、大学の学生生活の半分がコロナに振り回されました。今、自分が大学を卒業することになって、ようやく大学に通えるようになりました。在学生の皆さん、皆さんは大学生や高校生の時にコロナに振り回され、思うように勉強も、課外活動もできなかったと思いますが、今ではかなりコロナ以前に戻っています。これからの大学生活を大切に過ごしてください。



研究室でのひとこま

研究を通じて

海洋科学技術研究科 海洋システム工学専攻2年

小嶋 佑芽

皆さんこんにちは。この度学生情報誌「拓海」にて、在校生へのメッセージというテーマで執筆依頼を受けさせて頂きましたので、私は大学における研究を通じて得られる「機会」について話そうと思います。

まず始めに、研究室で得られる「機会」について話そうと思います。大学で研究室に所属するということは、同世代かつ同分野の研究者を身近に持つことになり、自身の研究が行き詰った時に、身近に気軽に助け合える存在を多く持つことになります。また同分野でも自分と全く異なる研究内容に触れられる環境下であるため、自身の分野の知識を深める機会が恒常的にある環境とも言えます。このように、身近にありながら自身の研究のサポートや見聞を深める「機会」を研究室で得ることが出来ます。他にも、学外で得られる「機会」として学会や講演会が挙げられます。査読を通じて自分の研究成果に対し公的に評価を貰え、発表までいくと専門家からの高位の質疑を受けることが出来ます。また、大学・企業に関わらず学外の研究者がどのような研究に取り組んでいるのか、最新の業界のトレンドはどのようになっているのかなど新しい情報を仕入れる場でもあり、学校を離れて様々な刺激を受け、自分の研究にフィードバックする他とない「機会」であると言えます。

私が皆さんに伝えたいのは、大学での研究にはこのように多くの「機会」が巡ってくる、ということです。研究を研究としてだけでなく、今後の自分につなげられる「機会」が多く眠っていることを知っておくだけで、研究への見方・捉え方はきっと変わってくると思います。私自身、まだまだ研究をする人間としては未熟なところは多いですが、今度とも常日頃からこの初心を忘れず精進していきたいと思う所存です。



国際会議 IFAC 2023 Yokohama での発表風景

国際的な視点を持って

海洋科学技術研究科 応用環境システム学専攻3年

小林 海斗

2020年度から2022年度は新型コロナウイルスの影響で学生生活に大きな影響を受けた学生が多いと思います。そして現在規制解除などが進む一方で、私は新型コロナウイルスが世界的に与えたダメージが為替変動、インフレ、紛争など目に見える形で現れて来ていると思います。世界的にも様々な対立が発生しています。このような転換期を過ごす在学生の皆さんには是非自分の頭で物事の良し悪しを判断する力を身に付けて頂きたいと思います。具体的には外国のコミュニティに参加して国内では得られないものの見方を知ってほしいと思います。

私は修士課程からの5年間で主に研究室の用事で10回以上の渡航を行いベルギーで1ヶ月のインターンシップを、香港で3ヶ月の留学を体験しました。イスラム教のインドネシアにも4回渡航を行いました。そこで多くの外国の大学生と交流し文化、人生観、学習環境の違いなどを感じることができました。実際に外国へ行くのは機会に恵まれないと難しいと思いますが、現在はインターネットを通じて自分の好きな分野で外国の友達を作るのも難しくないと私は思います。私も中国語を勉強して中国のコミュニティで友達と交流する機会が増えました。最近は翻訳ソフトの高度化やオンライン語学学習サービスの充実もあります。学生という自由な立場だからこそ、是非いろいろな人の社会に対する考えを聞き、自分からも発信して議論をして欲しいと思っています。



香港海防博物館にて



2023年度 旅立ち

卒業特集

卒業、修了する 先輩留学生から在學生へ

留学生の皆さんへ

海洋科学技術研究科 海運ロジスティクス専攻2年

繆 俊 傑

時の経つのは早いものです。既に過ぎた2年程の大学院生活を振り返り、皆さんにいくつかのアドバイスをさせていただきます。

まず大切なことは、努力の継続です。皆さんは自らの努力により海洋大大学院入学を勝ち得、希望する専門分野で勉強されています。日本の国立大学に入学できたことより、学力に問題はないでしょう。しかし入学は到着点ではなく出発点です。大学院入学後、全く勉強せず欠席や試験の不合格により留年、修了延期になる院生も少なくありません。留学生の皆さんには改めて自身の留学目的と将来の計画を再確認し、その実現のための努力を続けて欲しいと思います。

次に、日本語をしっかり勉強しましょう。英語の成績により入学し修論も英語で書くつもりであれば、日本語の勉強の必要はないと思われるかもしれませんが、大学院での勉強のみならず、日本での生活を送るうえでも日本語のマスターは不可欠です。日本人の教員や学生との交流の機会は多岐に渡るので、これを活かして日本語の鍛錬を重ね、語学力を向上させましょう。

最後に、学業と生活のバランスを図りましょう。コロナ禍が開けた今年には多くの社会活動が再開されました。せっかく日本に来たのですから、勉強以外にも様々な活動に参加したり旅行したりして、新たな価値観を見出す等、視野を広げて欲しいと思います。

以上、個人的な経験に基づいたアドバイスとなります

たが、ご参考になれば幸いです。皆さんの留学が充実したものとなるよう、心から祈念します。



立山登山にて

退職の年を迎えて

退職なさる

教職員の方々より一言

定年を迎えて



食品生産科学部門 教授
松川 真吾

私は平成9年4月に化学教育取りまとめ役の教授のもとに助手として赴任しました。当初は5号館1階の機器室のESRの隣にデスクがあったのですが、測定が始まると、とてもうるさかったです。その後、講義棟1階にあった化学実験室の一角に作った小部屋に移動しました。夜間は施錠され、誰もいない真っ暗な講義棟になった一人となってしまう、とても心細かったです。でも、お台場の花火大会の時には、妻と二人で4階の講義室に侵入し、真ん前に花火が見える特等席で打ち上げ花火を鑑賞できたのが良い思い出です。

その後、縁あって食品物性学研究室の助教授に就任して現在に至っています。就任直後には、食品物性学はどう取り組むかを思案しました。結局、自分の専門のNMRを中心においた研究スタイルで行こうと決め、「マクロからミクロ、分子レベルまで」を謳い文句に食品のマクロな物性をNMR測定によって分子運動性へと帰着させる研究手法を確立しました。最初は、関連学会で発表しても「何言ってるか分からない」という反応も多かったのですが、徐々に受入れられるようになりました。国際的にも食品物性研究にNMRによる分子運動性評価を取入れている研究者は少なく、一旦、認知された後は高く評価されています。この間、23MHz、400MHz、600MHzのNMRを使える環境であったのは非常に恵まれておりました。導入に関わって頂いた方々には心から感謝いたします。NMRの伝道師として、多くの先生方に利用して頂けるように願っております。

定年にあたり



海事システム工学部門 教授
岩坂 直人

大学の先生がインタビューを受けるとき、書架を背景に撮影するのは、複写文献、覚書、本などが造山運動している机を人様には見せられないからだ、という説を教えてくださいました。インタビューはついぞ受けたことがなかったが、私の机がそのようになって幾星霜、何度も山体崩壊の危機に直面し、その都度弥縫策でやり過ぎてきた。しかし、とうとう更地に戻す時が来たようだ。専門分野の書籍は、大きい、重い、分厚い、の三重苦である。電子化書籍、論文の利用が一般化した今となつては、実体本の引き取り手があるのか疑問である。さらに厄介なのは研究覚書の類いだ。ノーベル賞受賞者ならいざ知らず、私の覚書が世の中の役に立てるのは、せいぜい廃品回収で再生紙の原料になることくらい。私の扱うデータは、オープンリール磁気テープのような、いまや博物館でしかお目にかかれぬ媒体に保管されていた。しかし媒体が寿命を迎える前、それらの入出力デバイスが早々に世の中から退場した。媒体上のデータも事実上消滅である。良質の紙の書籍は千年も保存できるのにデジタルデータは儂い。と思っていたが、今や必要なデータや論文、研究ツール、何でもネット上にあるかの如く見える。無数の人々の知恵と労力と時間の結晶ばかりだ。それらが水や空気のように誰でも利用可能とは有り難い時代になった。とは言え、人々がそれらの有り難みを忘れたら、早晩良質のコンテンツから駆逐されるのだろう。

定・年・退・職



海事システム工学部門 教授

竹本 孝弘

「定・年・退・職」を迎えることとなった。私が東京商船大学乗船実習科を修了した1984年はまだ海運不況のさなかで、海上就職した同級生は数えるほどだった。当時、修了生の就職活動は9月の帆船遠洋航海から帰港して一斉開始だったので、船会社に就職できなかった学生はなりふり構ってられず、短い期間で陸上の会社を決めなければならなかった。私は遠洋航海中に航海訓練所(現海技教育機構)航海士の誘いを受けた。当初、社船航海士を希望しており断ったのだが、何人もの私より適任の学生に断られ、困り果てた表情の担当航海士の説得に負け、また、遠洋航海で帆船の魅力も感じていたことから、練習船航海士として働くことにした。

その後、世の中はバブル経済に突入、航海訓練所は運輸省(現国土交通省)に所属し、職員は国家公務員だったので、民間会社に就職した同級生が浮かれるのを横目に見ながら、今に比べるとかなりやんちゃだった実習生相手に、若手航海士として地味で楽しい毎日を送った。1989年から2年間、東京商船大学に出向となり、久々宮久教授(後に学長)の元で、研究の「ものまね」のようなものをさせていただいた。結婚直後と言うこともあり、先生からは「研究はさておき、船に乗っていると家を空けることがほとんどなんだから、出向中は家を中心に生活しなさい」とアドバイスをいただき、本当にそのとおりの生活を送らせて頂いた。

航海訓練所に戻ってからは、それなりに忙しく過ごし、2007年に練習船大成丸(現世のひとつ前)船長を拝命、海上職のひとつの目標を達成したのを機に、2009年4月、母校、東京海洋大学海洋工学部でお世話になることにした。

大学では船舶職員養成の整備、STCW条約改正対応、汐路丸4世の建造などこれまでの経験を活かせる、とても有意義な時間を過ごすことができた。

定年退職を迎え、学生にアドバイスと言うほどではないが、ひとつ伝えたとすれば、「頑張りすぎない」ことだと思う。バブルの頃は「24時間戦えますか」と謳ったCMもあったが頑張りすぎてはいけない。世の中は理不尽なことが多く、必死の努力が必ず報われるとは限らない。一方で、運良く事がトントン拍子に進むこともある。ただ、努力し続けることと挑戦を恐れないうで欲しい。

定年退職後は引き続き再雇用でお世話になる予定である。

天気晴朗なる「定年」という港を前に



海事システム工学部門 教授

逸見 真

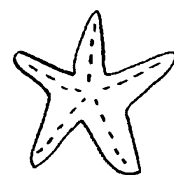
2014年4月に(独)海技大学校(現海技教育機構)より本学へ移籍となり、来年3月にて早10年、同時に定年を迎えます。社会人人生という船出も終盤に差し掛かり、何とかパイロットステーションを望見できる位置にまでたどり着いたという心象です。

月並みな表現とはなりますが、人の生き様は人知を超えはかり知れません。本学卒業時、母校での職を得られての人生航路の終着等、まったくもって予想だにしませんでした。小生も迂遠なる流れに秘められた無限の力に翻弄され、また導かれたといえましょう。

想い出は多くも果たして本学に微力なりとも貢献できたか否か。後輩でもある学生らには講義や就活指導と誠心誠意、尽くしてきた自負のある一方で、時には厳しく、わが命へぶれずに従え等と叫ぶ強引な指導に、彼ら彼女らの閉口する姿を垣間見たものですが、ひとえに一度きりの人生を勇猛果敢に舵取りせよとの一念で接した故でした。

末筆ながらこの紙面をお借りして、小職を本学の教員公募にお誘い頂きました先生方には厚く御礼申し上げ、海事システム工学科の教員各位とその学生諸子、海洋工学部、そして本学の今後のご安航を心より祈念致し、ご挨拶とさせていただきます。

誠にありがとうございました。



徒然なるままに研究三昧

流通情報工学部門 教授

今野 均

「徒然なる儘に、日暮らし硯に向ひて、心に映り行くよしなしごとを、そこはかと無く書きつくれば、怪しうこそ物狂ほしけれ」とは吉田兼好の徒然草の書き出しであるが、私にとってこの文章は、自身の研究に没頭する様に重なって親近感が湧く。「怪しうこそ物狂ほしけれ」とは、小林秀雄に言わせれば、「眼が冴えかえて、いよいよ物が見え過ぎ、物が解り過ぎる辛さ」を表すとのことだが、私からすればそれは、それまでぼんやりと見ていた事柄たちの関係がふと鮮明となり、そこから新しいアイデアが湧き出してくる状態そのものだ。一度物が解りアイデアが湧き始めると、それらを整理して筋道を立てなきゃと思う自分や、計算して検証しなきゃと思う自分、さらには勝手にもっと先を推論し始める自分やらが立ち代わり現れる。そのツボにハマってなんとも制御が追いつかない状態が「物狂ほしけれ」だ。そして、いつの間にか机の上は文献や計算ノートの山となる。

長年、研究生を送っていると、時として「研究するってどんなことですか?」と聞かれることがある。もちろん一言で説明できるようなことではない。上で述べた徒然草の一文を引き合いに出して語ろうにも、兼好の文章は簡潔すぎて解釈の説明を要するし、「物狂ほしけれ」状態が、一体全体、楽しいことなのかどうなのかの説明もしなければならない。そんな時に便利なのが、芥川龍之介の「戯作三昧」という短編だ。これは、「南総里見八犬伝」を執筆する滝沢馬琴の様を描いた作品であるが、その描写はまさに、兼好の文章を補って、研究者が研究に没頭する様を明らかにしてくれる。ポイントをついた箇所を引用する。

「始め筆を下した時、彼の頭の中には、かすかな光のようなものが動いていた。が、十行二十行と、筆が進むのに従って、その光のようなものは、次第に大きさを増して来る。

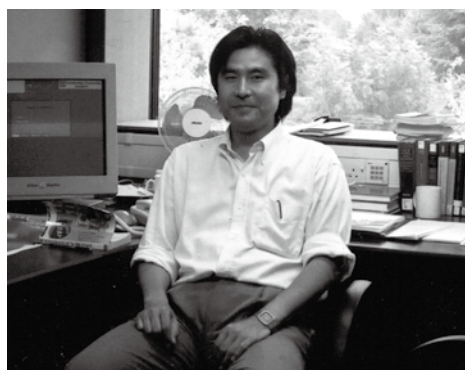
……

彼は遂に全くその虜になった。そうして一切を忘れながら、その流れの方向に、嵐のような勢いで筆を駆った。この時彼の王者のような眼に映っていたものは、利害でもなければ、愛憎でもない。まして毀誉に煩わされる心などは、とうに眼底を払って消えてしまった。あるのは、ただ不可思議な悦びである。あるいは恍惚たる悲壮の感激である。この感激を知らないものに、どうして戯作三昧の心境が味到されよう。」

「戯作三昧」を「研究三昧」に置き換えればそれで良い。若い人には是非この心境を味到して欲しい。ただし、一度この感覚を味わうともう元へは戻れない。

これだから研究はやめられない!

追記:「戯作三昧」には馬琴の奥さんや息子夫婦から見た馬琴の姿も描写されている。彼女たちの視点もまた的確であり、妙に身につまされるのである。



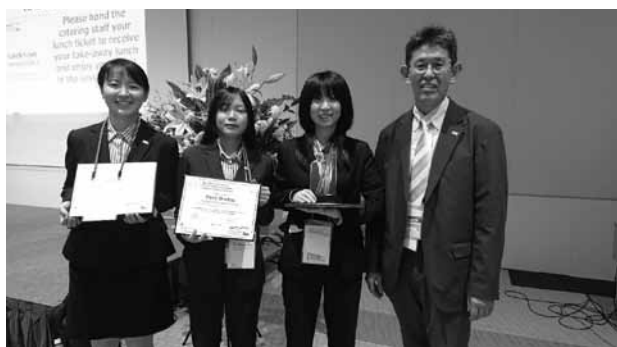
DAMTP, Cambridge にて



世界で唯一の花

流通情報工学部門 教授
渡 邊 豊

研究者の人生に出港した時、「世界で唯一の花を生み育てる!」と決意する。師事したのは戦争を船乗りで生き抜いた教授。彼曰く「これからはコンテナの時代だ」。針路が定まる。「コンテナか!それ行け港だ!」。そこで出会ったのは猛々しい港湾労働者たち。宿題を突き付けられる。「コンテナ横転は普通の交通事故やない!何十トンの貨物が千差万別で積まれ毎日変わるんや!」。横転の原理は簡明だ。重心に加わる遠心力が勝れば横転する。問題は重心をどうやって見つけるか。積載状態は不明、成す術がない。途方に暮れ海を眺めていた時、亡き恩師の教えが蘇る。「出航前に重心を調べ、沖で遭遇する揺れを推定する。」すべてが一瞬に解ける。船では揺れ=f(重心)である。ならば、重心=f⁻¹(揺れ)を解けば、コンテナの重心を求められる。三次元重心検知理論=海の知識の逆関数。世界で唯一の花が芽生える(2006年)。震災復興支援の縁で横転防止から転覆予知波高計を達成(2014年)。志高き学生たちが集まり始める。彼女たち彼らのひたむきな献身が、三次元重心検知理論を人間重心検知理論へと進化させる(2020年)。著名大を凌駕してMeasurement and Control Show最優秀賞(2022年)。そして、1950年代米国政府創設以来アジア初となるESV/SSTDC全世界大会優勝(2023年)。40年前に出港した時には想像すらできなかった、清々しい寄港地に入港させてくれたのは、教え子たちであった。世界で唯一の花は成長を続けている。その先の寄港地へ、いざ、出港!



米国政府主催全世界大会表彰式にて(右端本人)

出会いに導かれて

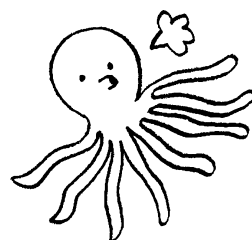
海洋環境科学部門 教授
石 田 真 巳



1990年に東京水産大学の助手になってから、教員の皆さん、練習船やステーション等の皆さん、事務局の皆さん、そして学生の皆さんから、いろいろ教えて頂き、助けて頂き、お蔭で現在まで教員を続けて来ることができました。ありがとうございます。

私は、三浦三崎港の近くにあった実家の関係から東京水産大学で食品を学びました。卒業後、当時まだマイナーだったバイオの研究をしたくて他大学の研究所や大学院で生命化学を学びました。そして、本学の食品の助手になり、大学統合時に環境に移動しました。それぞれの分野に、面白いこと・解決すべき課題があり、分野の違いを肌で感じました。振り返ると、岐路では流れに身を任せたことが多く、その結果、新たな先生や友人と出会い、恩師との出会いから道が決まりました。続けてきた極限環境微生物研究も新たな仲間との出会いによって、好熱菌から好冷菌へ、好圧菌へ、環境適応の基礎から応用へ、生分解性プラスチックなど海洋環境保全へと広がりました。

大学時代・大学院時代も社会に出ても出会いを大事にしたいと思います。今、自分が居る環境の中で一生懸命頑張ってみてください。一生懸命から新たな出会いが生まれ、進む道が見えてくるかもしれません。学生時代、興味があることが見つからない人も諦めないで、疲れたときは一寸休んでも、先生や友人、家族と話すことを大切にしながら卒業を目指してください。地球環境にも世界の状況にも課題が多いですが、皆さんの活躍の場でもあります。



40年を振り返って

海洋資源エネルギー学部門 教授

野田 明

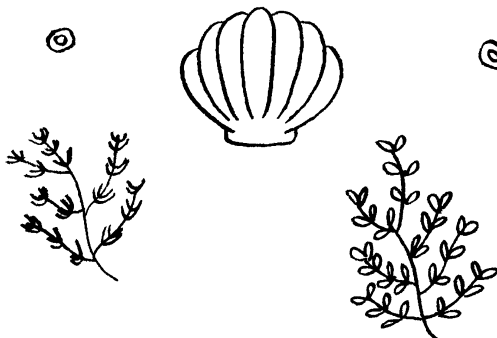


40年前、本学を卒業して以来、ほとんど船上で勤務してきましたが、とうとう今年で定年を迎えました。本学には1993年5月に海上職で採用されて在職は約31年、最後の4年間は品川キャンパスで過ごしました。

私は東京水産大学(現 海洋大)の水産専攻科を1984年に卒業し大洋漁業(株)に海上職で就職、9年間、大型船の航海士として務めた後、母校である東京水産大学に二等航海士として採用されました。昔から航海士志望でしたが、練習船の航海士という職種は全く考えたことがありませんでしたので、本学の練習船から中途採用の話があった時は悩みました。子供の頃から「教員職は自分には絶対出来ない」と自覚していましたので。

民間から転職した私はまず仕事に慣れることに大変苦労しました。同じ海上での仕事ですが、当然ながら今まで乗船してきた民間船と大学の練習船とでは仕事のタイプがかなり違います。苦労している私を当時の船長他乗組員の皆さんは根気強く助けてくれました。これは忘れられない思い出となっています。そんな私も2011年から9年間海鷹丸の船長を務めることが出来ました。私の学生時代、海鷹丸の船長は雲の上の人であり、まともに顔を見る事も出来ませんでした。そんな存在に自分になろうとは夢にも思いませんでした。船長職は大変ではありましたが、私にとって40年間の集大成となり今では大切な財産となっています。

これまでお世話になった練習船の皆さん、そして陸上で支え続けてくれた教職員の皆さん、長い間ありがとうございました。



大学院紹介

食品流通安全管理専攻／応用生命科学専攻

食品流通安全管理専攻について

食品流通安全管理専攻 准教授

柴田 真理朗

本専攻は食品安全・品質管理の専門家として体系的な学習をする機会を提供する実務者教育の大学院として2007年に設立されました。専攻は食品流通安全管理者としてのステップアップを目的とする社会人学生、および主として本学の食品生産科学科からの内部進学者から構成されています。

本専攻は食品流通に係わる安全管理・リスク管理の基本を理解した上で、企業等で経営方針を策定し、指揮を執るための総合的判断能力を有する人材の養成を目的としています。基礎知識習得のための講義、現場経験を積む演習・調査・実習、問題解決能力を鍛錬するためのケース演習と、バラエティの富んだ授業は他専攻からも多数の学生が受講しています。さらに、本専攻は国際規格 ISO 22000の審査員資格取得、HACCP管理者コース、食品流通ロジスティクス実務家養成コースを提供しています。なかでも「HACCP管理者コース」は、毎年受講生が100名程度と非常に人気の高い教育コースです。

本専攻は様々な点で合理的に学習が進められるように配慮されています。全ての授業は平日の夜間、および土曜日の日中に集中授業方式で開講されますが、授業スケジュールが年度開始時に既に決定されているため、予定が立てやすく助かるという声をもらっています。また、授業の6割以上がオンラインで実施されています。通学の必要がないことは特に社会人学生にとってメリッ



ハイブリッド授業の様子（食品ロジスティクスの実際）

トが大きいです。オンデマンド形式の授業は何度も授業動画を見直せる上、仕事や実験のスケジュールと融通する必要がない、などと大変好評を博しています。さらに、対面授業に出席することが難しい学生がオンラインで参加できるハイブリッド授業も一部の講義で実施されております。

大学院で学べる事

応用生命科学専攻 専攻主任 教授

久田 孝

博士後期課程の応用生命科学専攻には、3つの専攻分野（応用生物科学、食品機能利用学、応用生物工学）があります。海洋生物の生理・生態・機能を解明し、環境との調和による資源確保、物質生産と維持、および安全で高品質な食品の創出など、海洋生物資源の持続的生産と高度有効利用を目指した先端的学理と技術開発について教育研究を行っています。また、本専攻では国立研究開発法人の水産研究・教育機構や海洋研究開発機構と連携で、最先端の基礎研究から、現場環境で実装可能な技術開発の教育・研究を行っています。

関連する博士前期（修士）課程の海洋生命資源科学専攻と食機能保全科学専攻の定員はそれぞれ50名と32名ですが、応用生命科学専攻の定員は19名です。その多くは修士課程からの進学者ですが、社会人や海外からの留学生の方も在籍しています。かつては、博士の学位を取得しても大学教員等以外では必要になることは少ないように思われていましたが、海外では研究職であれば大学に限らず民間企業でも当然のように必要となっており、日本の民間企業の研究職の方でも博士の学位を持っておられる方が多くなっています。

学部学生の皆様は、好きな講義内容や実験が楽しいと思うことがあれば、まずは修士課程進学を考えてみてください。さらに、後期課程において、自分の研究だけではなく、様々な共同研究や国際学会への参加、社会貢献を経験して、国内外で活躍できる人材となることを期待しています。



国際交流プログラム

OQEANOUS Plus Programに参加して

海洋資源環境学専攻修士2年

森田千尋

私は2022年11月から5か月間、タイの国立カセサート大学に留学しました。毎日が驚きと発見の連続でしたが、ここでは学校生活を切り取り、シェアします。留学を考えている方の後押しになれば幸いです。

カセサート大学Bangkhenキャンパスの敷地面積は本学品川キャンパスのなんと約9.4倍もあります。毎日の自転車通学だけでいい運動になりました。その広大な土地には水産学部が授業で使用する25mプールほどの養殖池が何個もあります。そこではティラピアの養殖方法や、10人がかりで行う網漁の仕方を学部生と一緒に学びました。時には学校を飛び出して、エビ養殖場の見学やサンゴ礁の潜水モニタリングにも参加しました。学校生活で印象的だったのは学生たちの個を大切にしている姿勢です。異文化が交わるタイにおいては皆が生きやすいように行動する方が多いように感じます。個性を尊重し合う彼らのおかげで、世間体を気にしがちだった私も“留学生だから”“日本人だから”と内向きになることなく積極的に交流できました。学生達とのランチタイムや離島への旅行はすべてがいい思い出ですし、物事を多角的かつ柔軟に捉える力を得たことは間違いなく自身の成長の糧になりました。

タイはInternational Joint Program(IJP)の提携先に新規に追加された国でしたが、両大学の教官やスタッフの方々と一緒に渡泰した友人との助け合いにより、笑顔の絶えない充実した日々を送ることができました。サポートして



ゾウと触れ合う筆者



授業と並行して研究を行う筆者



校内での漁業実習

若いうちに海外で社会に触れることの意味 ～1ヶ月のシンガポール滞在を通して～

海洋生命科学部 海洋生物資源学科2年

安永和矩

私は、「学生のうちに視野を広げたい」「海外の様々な現場を見たい」という理由から大学の海外探検隊のプログラムを使って、シンガポールに1ヶ月留学をしました。たった1ヶ月の留学でありましたが、自分の人生観が変わるような充実した1ヶ月でした。

この留学の最大の特徴は、単なる語学留学ではなく、外国の企業や研究機関でのインターンを行うことができる点です。研修では、シンガポール大使館や、シンガポール最大の観賞魚養殖施設、世界大学ランキング第八位のシンガポール国立大学など、通常の語学留学では行えないような施設で研修を行いました。ビジネス意識の強いシンガポールでこのような研修を行うことで、現場に実際に足を運ぶことの重要性を感じるとともに、実社会との繋がりというものを意識するきっかけとなりました。日本の大学で得た知識だけでは物足りず、実際の社会で求められるスキルとの乖離というものを実感しました。これに気づくことができるというのは、海外探検隊の最大の特徴であると思います。また、1ヶ月間の研修は他学科から構成されるメンバーであったため、一つ一つの研修を多角的な視点から捉えることができるため、海外での研修という経験をさらに広く捉えることができます。

私がこの海外探検隊で学んだことは、大学での座学的な学びに加えて、社会との繋がりを意識しながら様々な現場での経験を積むことの重要性です。ぜひ皆さんも大学生のうちに、日本から離れた場所で、人生観変えてみませんか？



7.29ウビン島



7.26チェンブーアロワナファーム

海外探検隊に参加して

海洋工学部 海事システム工学科3年

金井 郁磨

私は海外探検隊第21期ベトナム派遣に参加し、7月16日から8月14日の30日間にわたり、ベトナムに滞在し、現地の企業や研究所での研修、ハノイ工科大学(HUST)で研究活動を行いました。メンバーは、学部3年生1人と2年生2人の計3人で構成されており、エネルギーギッシュなチームでした。

昨今の新型コロナウイルス感染症の影響から、海外探検隊の実施は難しい状況でしたが、昨年の冬から再度、海外探検隊が実施できるようになったため、私は応募しました。

現地では、大小様々な困難もありましたが、とても充実した30日間でした。

研修の最終日には、英語で、現地で過ごした30日間についてプレゼンテーションを行いました。プレゼンテーションの際には、普段使わない言語で相手に情報をわかりやすく伝えることの難しさと感じることができました。

現地のパーティーに参加させていただいた際には、日本とベトナムの文化やマナーの違いに触れることができ、グローバルな社会で生きていくためのいい経験となりました。

また、休日にはツアーに参加してハロン湾に行くなど、学問だけではなく、歴史や文化にも触れる機会が多々あり、とても貴重な経験となりました。

海外探検隊での経験は、どれも貴重なものであり、語学面だけではなく、様々な面から自身の成長を感じることができました。このような経験ができたのは、一緒に行ったメンバーや現地の皆様、グローバル教育機構様などの協力があつたからです。

海外探検隊プログラムに携わってくださった皆様に心より御礼申し上げます。



執筆者
左から2番目の
男性



執筆者
左から3番目の
男性

海外インターンシップを経験して

海洋工学部 流通情報工学科3年

小宮 琉聖

私は、去年の2022年7月から10日間、損保ジャパン中国社のインターンシップに参加しました。正直に言うと、最初のきっかけは、損保ジャパンのネームバリューや、海外経験が出来るのではないかと漠然としたものでした。

研修内容としては、損保ジャパンが取引している多様な業界の方と対話をしたり、日本に進出している荷主企業のセキュリティチェックのためのKPIを作成したりしました。

たったの10日間しかないように思われますが、私は、このプログラムのことを今でも毎日思い出すぐらい強烈な体験でした。この研修後、私もグローバルな規模で、サプライチェーンの領域で活躍したいと強く思うようになりました。対話の中で、グローバルな規模で活躍している社会人の方と当時の私とのギャップを感じる場面がたくさんありました。また、実際に社会人になって必要な能力は思った以上に幅広く複雑なもので、柔軟さやバランス感覚が必要だと気がつきました。

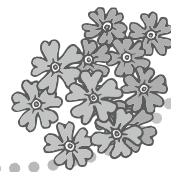
私はそれまで座学の勉強ばかりしていましたが、研修以降は、海洋大の研修プログラムである海外探検隊に参加してみたり、交換留学に応募したりと、座学以外の経験を自ら求めるようになりました。たった10日間の研修ですが、そこで出会った社員の方は私の理想像となり、明らかに研修後の私の行動に影響を与えています。

最後に、私は損保ジャパン中国社の皆様や、きっかけを与えてくれた教職員の方々のおかげで、「とりあえず」参加したインターンシップが大学生活での分岐点になりました。海外研修の派遣をなんとなく考えている方は、深く考えずに参加してみるのも良いと思います。

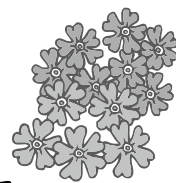


執筆者：写真中段左

卒業生より



業界で活躍している OB・OGの方々



プロジェクトを担当して5年目になります

2016年3月 海洋工学部流通情報工学科卒業
2016年4月～ アサガミ(株)

杉山 茂

20

大学近くに会社の事務所があり、今でもたまに訪問させていただく機会があったり、こうして文章の寄稿でも関わりを持たせて頂いていることにご縁を感じております。

大学で特に印象に残っているのは3年次以降の研究室です。発表会に向けたテーマ決めで、先生に「なぜそのテーマにしたのか。目的が明確になれば9割は終わったことになる」と何度もご指導を受けたことをよく覚えています。発表やプレゼンの際の度胸は研究室で身につきました。研究室で料理をしたりと楽しい思い出も多く、また、黒川先生には今でもお世話になっており、大変感謝しております。

卒業後はアサガミ株式会社に就職しました。就職活動では、複数社の物流会社から内定を頂きましたが、特殊貨物の輸送ができる点と社員同士の距離感が近く風通しのいい社風である点に惹かれ、アサガミ株式会社に決めました。弊社は独立系の総合物流企業で、港湾・運輸・倉庫事業を営んでいます。木場のイトーヨーカドー近くにも倉庫があり、首都高からも大きな看板が見えますので気にして見てもらえると嬉しいです。入社後は横浜で輸出業務に1年従事した後、現在所属する事業管理部に配属されました。

事業管理部では車両の購買や事業に必要な許認可関係の管理も経験し、現在は主に管理会計と業務改革プ

ロジェクトの事務局を担当しています。業務改革プロジェクトでは、はやりDX(デジタル・トランスフォーメーション)で、紙やエクセルで行っている作業をシステム化し、ムダの削減とデータの応用を可能にする活動をしています。プロジェクトを担当して丸5年、港湾・運輸・構内作業の各事業の10拠点へのシステム導入に携わりました。大学で培った素養もあり、部署関係なくシステム系の仕事で頼りにされることも多く、学べたことが生かしているように感じています。物流企業と聞くと「現場作業」のイメージを持たれることが多いかもしれませんが、アサガミ株式会社はそういった物流現場を「マネジメント」するお仕事となります。私は入社2年目から経営層が出席する会議に参加し、若手のうちから会社の経営そのものについて学ぶことができました。この企業規模で若手のうちから経営層と近い距離で仕事ができる企業は多くないと思いますので、興味がある方はぜひ弊社に応募してみてください!



勤務しているオフィスです。皇居が一望できます。

先日大学を訪問した際に、最近の流通の学生は進路にSEを志望する割合が増えていると聞きました。私は情報系に関心がある方ではなかったのですが、会社で「ナップサック問題」を解く改善を行った際に、もっとまじめに講義を受けていれば…と思いました。皆さんが勉強していることはどの業界に行っても必ず役に立ちます。一方、流通は乗船実習もなく座学ばかりのイメージがありますが、大学全体に目を向けると様々な制度やチャンスがあります。私は交換留学で中国に1年留学したり、畜養マグロ買付のインターンシップでトルコとクロアチアに1ヵ月行ったりと、あまり本学の学生でも経験しないことにチャレンジしました。ぜひ学生の皆さんには視野を広く、今しかできない色々な経験をしてほしいと思います。

海の切り口

2018年3月 海洋科学部海洋環境学科 卒業
2020年3月 海洋科学技術研究科 海洋資源環境学専攻 修了
2020年4月 パシフィックコンサルタンツ株式会社 入社

土橋 陽一郎

朋鷹寮に入寮し、カッター部として品川のボンドで汗をかきはじめてから、10年の月日が経とうとしています。大学では、修士課程まで6年を過ごし現在は、パシフィックコンサルタンツ株式会社で港湾構造物の設計を仕事にしています。

皆さんは観測や航海で「神鷹丸」や「汐路丸」などの実習船に乗る際、船が着岸している岸壁の延長や水深、構造に思いを巡らせたことがありますか。港と同じ社会インフラで橋の構造の美しさ、道路の使用性について考えることがあっても、岸壁や防波堤の構造を普段から気にしている方は少ないのではと推察します。私もカッター部OBとして恥ずかしながら、現役時に船着場の形状、構造について考えることは皆無でした。しかし、社会資本整備に携わる、建設コンサルタント業界に飛び込み、土木の視点で海を眺めはじめてから港の見方が一変しました。

私が所属する港湾部では主に港湾、漁港の①計画、②調査解析、③設計、④維持管理に関わる仕事を実施しています。言い換えれば、①費用便益の観点で港の平面デザインを考え、②想定リスク(高波/津波/地震等)

を定量評価し、③安全に成立する構造の図面を起こし、④未長く利用するための方策提案を行うという流れになります。「ゆりかごから墓場まで」という言葉がありますが、計画から解体まで港の在り方を国や自治体、建設会社と共にプロデュースすることが使命です。各港湾構造物の寿命は基本、50年以上と長く、さまざまなリスクを確率的に背負うこととなります。リスク評価の観点で最近のトピックは「気候変動」であり、特に海水位上昇の影響を実設計に反映した業務が増加しています。

私は設計技術者として、供用期間に渡り要求される性能を満足する構造を抽出し、寸法を決め、図面を描くことを仕事としています。半世紀に渡り被災せず活躍する構造物の設計には、計算ミスやあいまいさが許されません。重責が伴う日々ですが、設計が実現し、社会を支える骨組みとなることにやりがいを感じています。

さて、タイトルの「海の切り口」ですが、私は現職に就き、新たな海の見方に至りました。大学では地殻変動検出を目的に海底圧力観測データを解析し、世界中の観測点で海の底からデータを通じて海面を見上げていました。研究内で地球の動きの一端に触れ、純粋に現象への興味を追求できた研究生活でした。現在は、より社会に近い視点で海を見つめています。港湾開発には多くの利害関係者が存在します。技術者として海を拓いていくためには頭でっかちにならないことが重要です。複合する課題を因数分解し、潮臭く(泥臭く)乗り越えていく必要がありますが、私は母校で学び、感じてきたことを手掛かりに課題解決に取り組んでいます。研究に近い話題に加え、水産、海洋探査、環境影響評価の講義、船上での経験が港湾技術者の素養として私の日々を支えています。皆さんが海洋大で学友と先生と過ごす時間は特別です。海という複雑なフィールドを相手にした経験は大学から出たとき、意図せず効いてくるもので、在学中は中々感じません。ぜひ、卒業してからの楽しみに、自分なりの「海の切り口」を携えて活躍してください。



青ヶ島三宝港調査時「くろしお丸」デッキより

在学生へ向けて

- 2009年3月 海洋工学部流通情報工学科卒業
2011年3月 海洋科学技術研究科海運ロジスティクス
専攻修了
2014年3月 海洋科学技術研究科応用環境システム学
専攻修了
2014年4月 東京海洋大学・日本学術振興会 特別研
究員PD
2015年4月 産業技術総合研究所 産総研特別研究員
2016年4月 東京工科大学 助手・助教
2020年3月 山口大学大学院創成科学研究科 助教

相 田 紗 織

私は学部入学から10年間東京海洋大学にお世話になりました。学生時代に何度か拓海に記事が掲載されたことがありましたが、また機会があり書かせていただいております。2014年3月に東京海洋大学大学院において博士(工学)を取得しました。その後、東京海洋大学において日本学術振興会特別研究員、産業技術総合研究所において産総研特別研究員、東京工科大学において助教として勤め、2020年3月から山口大学工学部知能情報工学科において助教をしております。

出身の学科は流通情報工学科で、研究室は下野孝一教授の研究室でした。下野教授には大学1年次からチュータを担当していただきました。1年次から研究室で研究の体験をさせていただけたことにも感謝しております。研究室の3D装置を使用して実験をする中で、研究の楽しさを体感し、今に至ります。

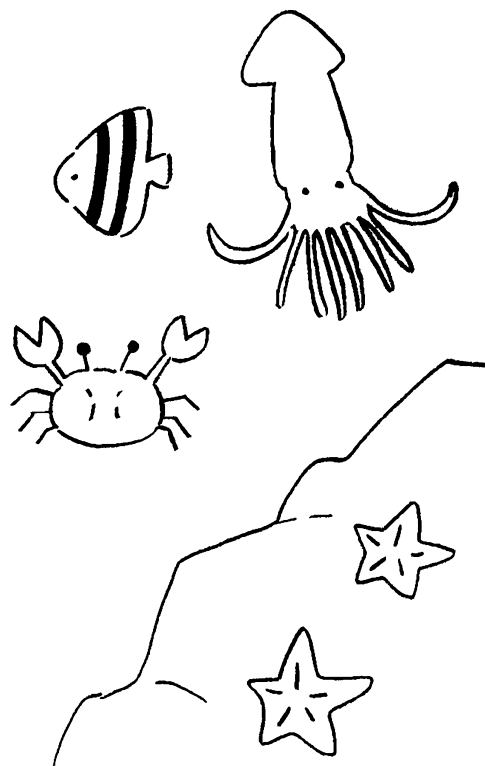
私は人間の視覚特性についての研究を行っています。特に3次元空間での奥行き知覚や数量知覚に関する研究を主に行っています。3D映画やVR装置を体験したことがあると思います。そのような装置を使用した時に、より自然で快適な視聴体験が得られることを目指した研究をしています。担当経験のある講義は、プログラミング(C言語、JAVA、Python)、知覚情報処理論、データサイエンス、映像情報科学特論などです。映像情報メディア学会、日本視覚学会、人工知能学会などの学会の委員の仕事もしてきました。

学生の時には気づきませんでした。就職した後、東京海洋大学の講義の内容がとても充実していたことに気づきました。私が学生だった頃の、押さえるべき基礎的内容と実学的内容が含まれていたのだと社会人になり実感しています。最近、企業に就職した同級生と話す機会があり、彼らも同じような感想を持っていました。学生のみなさんの中にはGPAを気にして最低限の科目のみ履修する人もいます。その気持ちは理解でき

ますが、ぜひ幅広い分野の講義を履修することをおすすめします。自分でも気づかなかった興味や関心を発見できるかもしれません。たとえ、その時点で直接的に役立つと実感できなかったとしても、将来的には何らかの形でその知識が役立っていることがよくあります。

社会に出てから、東京海洋大学(東京商船大学、東京水産大学)の卒業生や教員、関係者の方と、意外に多く遭遇します。東京海洋大学の卒業生は海洋関連の業界ではもちろんですが、幅広い分野で活躍しています。在籍している間に、教員や学生との交流を大切にしてください。

学生時代は社会人に比べれば、自由な時間が多くあります。大学は学問を学ぶ場ですが、それだけではなく、人生を豊かにする多くの機会があります。部活、留学、趣味、読書、旅行、アルバイト、インターンシップなど、ぜひ多くのことを体験し、熱中できるものを見つけ、何かに打ち込んでください。挑戦することでしか得られない経験があります。学生生活という限られた時間の中で、優先順位を考えて、充実した学生生活を過ごしてください。



実行委員長から

海鷹祭の紹介



第64回海鷹祭を終えて

第64回海鷹祭実行委員会委員長
海洋資源環境学部 海洋環境科学科3年

平山 創悟

第64回海鷹祭実行委員長を務めていました、平山創悟と申します。

昨年11月4日から11月6日に第64回海鷹祭を実施することができました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の状況が改善されたことで、入場制限をかけることなく、約16500人の方々にご来場いただきました。誠にありがとうございました。

第64回海鷹祭で特筆すべきは、4年ぶりに食事販売を再開できたことです。海鷹祭実行委員会の伝統であった漬けマグロ丼や解体なども復活させることができました。委員会だけではなく各参加団体も海鮮チジミやくじらの竜田揚げなど様々な工夫を凝らした出店がありました。

また今年度はグラウンドに屋外ステージを設営いたしました。学内団体のみならず、さかなクンさんや漁港さん、鬼ぷりんさん、令和ロマンさんなど、ゲスト出演者によるパフォーマンスを提供しました。青空の下でのパフォーマンスは、新鮮な体験を提供できたと思います。

最後にこの場を借りて、海鷹祭を支えてくださった企業・組合の皆様、大学関係者、学生を含む参加団体の皆様に深く感謝いたします。また第64回海鷹祭で、多くの新しい試みが実現できた背景には、新型コロナウイルスの影響下で変わった状況にもかかわらず、手探りながらもまさに身を粉にして働いてくれた委員たちの存在があります。言葉にできないほどの献身と情熱を持って取り組んでくれた委員たちに心からの感謝を表したいと思

います。

今年度の経験を生かして、よりよい海鷹祭をつくろうと第65回海鷹祭実行委員会が動き始めております。今後とも温かいご協力を心よりお待ちしております。



多くの人で賑わう模擬店

新任教員の紹介



海事システム工学部門 テニユアトラック助教
木村 公彦

2023年10月1日付で海事システム工学部門のテニユアトラック助教に着任しました、木村公彦と申します。専門は音声学・音韻論という言語学の一分野で、特にアメリカ英語方言の発音変化に焦点を絞った研究を行っています。

海洋大には英語教員として着任しましたが、学生時代は理工学系の学部・研究科で実験物理学の研究室に在籍した時期がありました。この期間に実験の作法や測定方法、数値データの取り扱いについて学ぶ機会に恵まれました。

物理学で修士号を取得後、言語学の修士課程に入り直し、現在の専門に転向しました。そこに至る詳細は紙面の都合上割愛しますが、学部時代から関心のあった英語発音の方言差や、学習者英語に現れる母語の影響について本格的に調べてみたいと強く思った末の決断でした。

音声学の研究では言語音を言語学的な観点から観察することはもちろんですが、観察を裏付けるために音の物理的な側面に注目して考察することも必要です。考察の際には物理学で学んだことを可能な限り活かせるよう、文理両方の観点から考えるように心がけています。複数の学問的背景を持つことを活かし、言語学に新たな視点を取り入れた研究ができるよう、今後も精進いたします。

船に関する知識はまだ学んでいる最中ですが、学生の皆さんに教える中で日々たくさんの知識や気づきが得られています。着任以前はあまり接点のなかった船の世界ですが、これからも皆さんと一緒に学び続けていきたいと思っております。



海洋資源エネルギー学部門 教授
草野 行弘

プラズマ、風力発電、
General Engineering

プラズマは、固体・液体・気体に加えて第4の物質形態であり、長く研究対象とされているだけでなく、広く応用されています。産業界で一般に用いられるプラズマは、気体に電気的な刺激を加えて容易に発生させることができます。このプラズマでは、気体を高温にすることなく化学的な活性状態を維持することが可能なため、通常とは異なる反応場として極めて有用です。学部を卒業してから、企業や研究機関で、プラズマ物理の基礎研究と、プラズマの応用開発としての表面・界面科学、及び複合材料研究等に取り組んできました。現在の活動拠点はデンマークの Danish Technological Institute (デンマーク技術研究所) です。海外生活が25年に及びますが、痛感するのは日本の大学教育のレベルの高さです。これが企業からの評価になると逆転するのはなぜか、検討が必要と考えています。

東京海洋大学では、1学期間のみ日本に滞在し、学部2年生対象の "General Engineering" を担当しています。コースの特殊性を考え、教科書で得られるような内容は最小限にして、できるだけ私自身の経験に基づいた話を盛り込んでいます。

日本滞在中に、共同研究の可能性を模索しています。風力発電では、ブレードの先端部の雨によるエロージョンが解決できない大きな問題となっていて、その関連で産学のネットワークを構築中です。これに限らずプラズマ・表面科学関連の材料開発を中心としてご興味のある方はスタッフの方々でも学生でも是非ご連絡ください。

学生の

課外活動報告

オーケストラ部

海洋生命科学部食品生産科学科3年 部長

宮地 映名

オーケストラ部は主に年2回の定期演奏会に向けて日々活動しています。最近では海鷹祭でのアンサンブル演奏や焼きグソクムシの販売なども行いました。そして2023年12月24日には、江戸川区総合文化センターにて第92回定期演奏会を開催しました。曲目はドリーブの「コッペリア」より前奏曲とマズルカ、カリンニコフの「皇帝ポリス」より序曲、チャイコフスキーの「眠れる森の美女」、そしてボロディンの交響曲第2番です。偶然にもクリスマスイブに開催された演奏会でしたが、寒い中沢山のお客様にご来場いただき、無事閉幕することができました。練習の成果を出せただけでなく、舞台に立つことを楽しめた演奏会になったと感じています。いらしてくださった方には心より感謝申し上げます。また、2024年5月19日に武蔵野市民文化会館で第93回定期演奏会を予定しています。素敵な音楽を奏でられるよう練習に励んでまいりますので、皆様のお越しをお待ちしております。



第92回定期演奏会の様子

女子カッター部

海洋工学部海洋電子機械工学科3年 主将

沖田 彩織

私たち女子カッター部は1年生から3年生までの部員10名が所属しており、主に週2日、平日の放課後に越中島キャンパスのポンドから隅田川かけての水域で練習を行っています。大会では、艇長1人、艇指揮1人、漕ぎ手6人の計8人でカッターを漕いでタイムを競います。

私たちが出場する大会は、5月の全日本大会と横浜カッターレース、12月の西日本大会であり、全日本大会と西日本大会では、1000m、横浜カッターレースでは180mを往復する360mのタイムをそれぞれ競います。今年度は全日本大会と横浜カッターレースに参加し、両方の大会で3位という結果を収めました。西日本大会に関しては、今年度は大会前に大会出場メンバーでの練習時間を十分確保できず、不参加となりました。

現在は、部員一人ひとりの漕ぐ力を向上させるとともに、艇長として艇を操船することもできるよう、練習を重ねています。来年度以降の大会では今年度以上の結果が出せるように精力的に活動していきたいと思っています。



筆者は前列左端

ニュース

&

トピックス

「海の日」記念行事を開催しました

東京海洋大学では、一般の皆様へ海に親しみ・興味を持っていただくために、7月17日（月）の「海の日」に記念行事を開催しました。当日は、「海の日」制定の由来となった「明治丸」に関するシンポジウムや、本学の船舶「やよい」及び「らいちょうN」の乗船体験、工作教室、ポスター展示等、本学の教職員や学生による様々なプログラムが実施されました。猛暑の中での開催となりましたが、400名以上の方々にご来場いただきました。



「海の日」制定の由来となった「明治丸」



「やよい」「らいちょうN」東京湾ミニクルーズ



水の実験・船の工作教室



本学学生によるポスター展示

2023年度海洋工学部父母等懇談会

11月11日(土)に海洋工学部父母等懇談会を開催しました。オンライン会議システムWebexに加え、大学に実際に来ていただいたの対面との併用にて実施しました。

事前に郵送により通知したところ、多数の参加希望があり、対面にて102名 オンラインにて75名の方々にご参加いただきました。

当日は舞田理事の開始挨拶から始まり、舞田理事の教育活動、国際交流等の説明、事前に寄せられたご意見に回答する形での海洋工学部の教育等について、元田

海洋工学部長からの説明までを、参加者全員に対して行いました。後半は学科ごとに分かれて、質疑応答を行い各学科では、修学状況、就職活動、乗船実習等について、質問に丁寧に回答しました。

参加者の皆様から多くの質問をいただき、それに回答する形で海洋工学部の教育活動等についてご理解いただき、有意義な時間となりました。

参加者アンケートでは、対面・オンラインの併用を希望される意見が多かったことから、今後も可能な限り併用開催を目指す予定です。

品川キャンパスの父母等懇談会

令和5年11月に、海鷹祭開催に合わせて品川キャンパス父母等懇談会を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から昨年度まではオンデマンド開催としておりましたが、今回4年ぶりに対面での開催となりました。事前の参加申込では180名を超える参加希望があり、多数の方にご参加いただきました。

舞田理事・副学長(教育・国際担当)による大学の現

況等の説明、後藤海洋生命科学部長による学部教育についての説明の後、各学部・学科教員により、事前に寄せられた質疑への回答や会場内での質疑応答を行いました。

ご参加いただいた皆様からの質疑も大変盛況で、事後に実施したアンケートにおいても様々な御意見・御要望が寄せられ、大変有意義な懇談会となりました。

令和5年度9月期学位記・修了証書授与式を挙行了しました

令和5年度9月期学位記・修了証書授与式を、9月28日(木)に越中島キャンパス越中島会館講堂にて挙行了しました。

今年度の卒業生・修了生は、学部卒業生4名、乗船実習科修了生46名、博士前期課程修了生31名、及び博士後期課程修了生15名の計96名です。

今回は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い4

年ぶりに、来賓の方々にご臨席、保護者等の方々にご列席いただきました。卒業生・修了生の門出を祝う温かい雰囲気の中での開催となり、それぞれ授与された学位記・修了証書を胸に、思い出の詰まった母校から旅立ちました。

井関学長が式典中に読まれた式辞の全文は、大学ホームページからご覧いただけます。



校歌斉唱



井関学長からの式辞

令和5年度10月期入学式(大学院)を挙りました

令和5年度10月期入学式を、10月5日(木)に品川キャンパス楽水会館大会議室にて挙りました。

本学では、大学院(海洋科学技術研究科)に10月期入学の制度があることから、この時期に開催しています。

今年度10月期は、博士前期課程33名、博士後期課程24名の計57名が、東京海洋大学生として新たな一歩を踏み出しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い4年ぶりに、来賓の方々にご臨席、保護者等の方々にご列席いただきました。多くの留学生も出席し、新入生の門出を祝う和やかな雰囲気の中での開催となりました。

井関学長が式典中に読まれた式辞の全文は、大学ホームページからご覧いただけます。



式典の様子

令和5年度9月期学生表彰授与式を行いました(令和5年9月28日)

○学生表彰(大学院)

東京海洋大学学生表彰規則に基づき、研究活動において特に顕著な研究成果をおさめた学生14名に対して、日頃の努力を称え、表彰状および記念品が授与されました。



井関学長(前列中央)と受賞した学生

令和5年度サークルリーダーシップ研修会を開催しました

令和6年2月20日(火)に、サークルリーダーシップ研修会をオンラインで開催し、課外活動団体44団体の学生や顧問教員など総勢49名が参加しました。

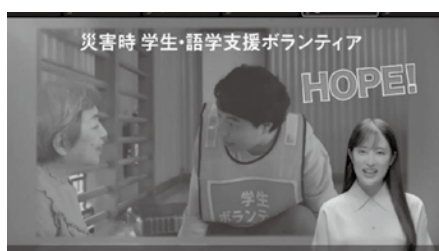
この研修会は、各課外活動団体の学生代表者と顧問教員が、リーダーシップの在り方について講演やワークショップを通して理解を深めることを目的としたもので、今年度は、高輪警察署から講師をお招きしてご講演いただきました。

「災害時の対応について」と題して警備課の方から、大規模な災害が発生した際の対応と平時からの備え等について、「防犯について」と題して生活安全課の方から、特殊詐欺、大麻等薬物の犯罪、SNSなどで高収入の闇バイトに巻

き込まれないための対策等をご講演いただきました。

参加した団体から「災害時の対応を学ぶことができた、学生ボランティアがどのようなものか知ることができた」、「闇バイトの具体的な手口、疑うべきポイントが分かってよかった。」との感想が寄せられました。

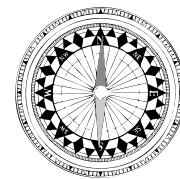
自身の安全のために、気を付けなければいけない事項について理解を深めることにつながる、内容の充実した研修会となりました。



災害時の対応について

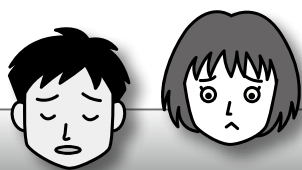
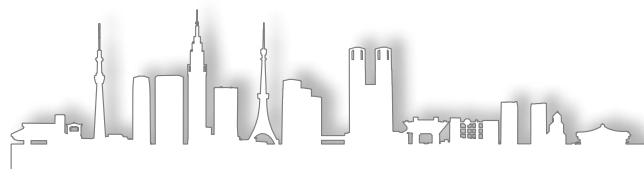


闇バイトについて



学生相談室からの

お知らせ



学生相談室について

学生相談（カウンセリング）

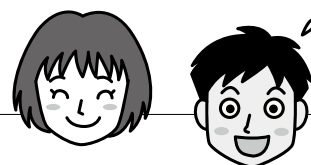
学生生活、進路、対人関係で悩みがある場合は、専門カウンセラーが相談に応じます。

話をしてみることで、あるいは自分の思いを表現してみることで、思いのほか気持ちが楽になったり、次

への展開へのきっかけが見つかったりもするものです。相談内容についての秘密は厳守されています。

なお、曜日が変更となる場合がありますので、HPをご確認ください。

品川キャンパス

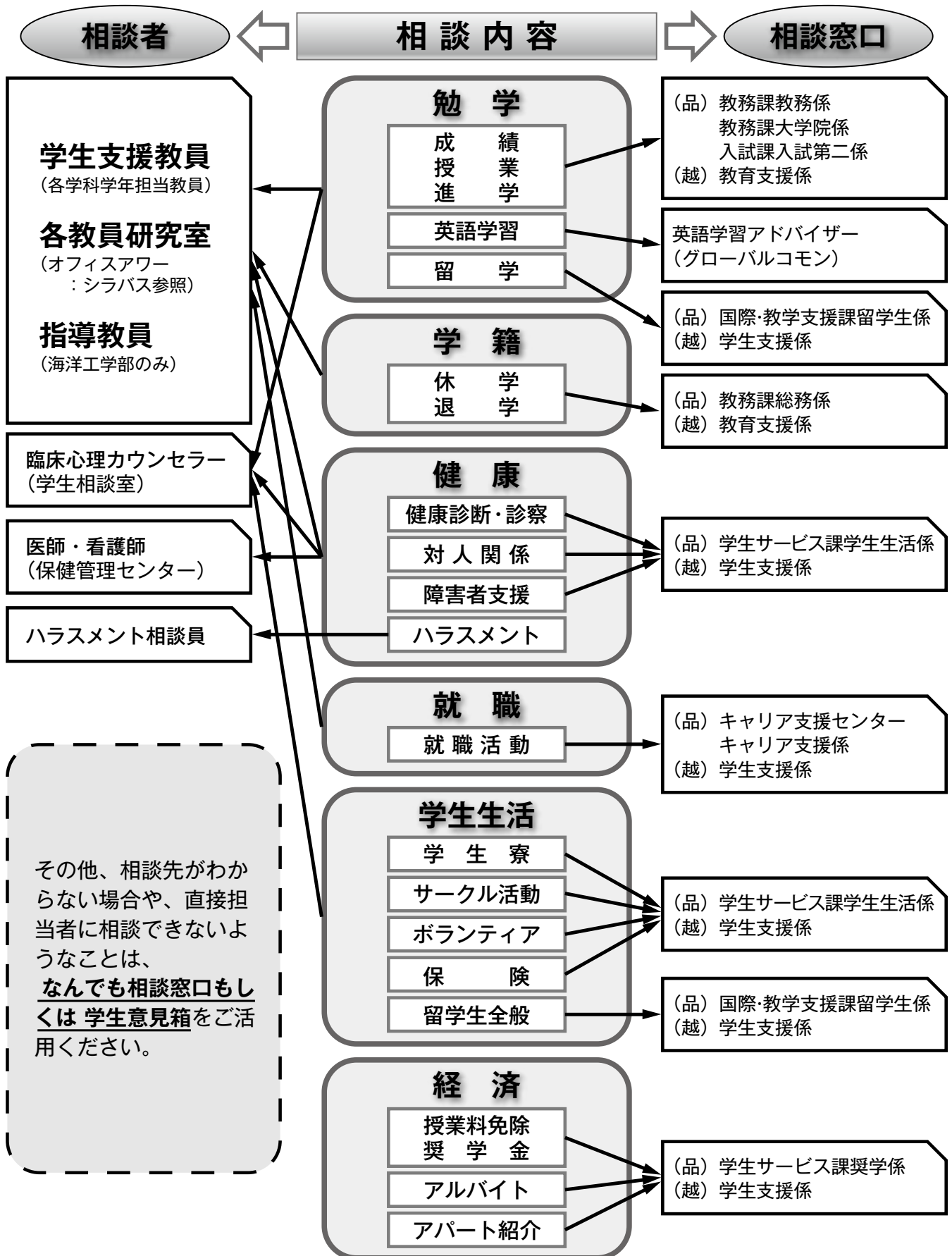


場 所	大学会館1階学生相談室
日 時	詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。
相 談 員	藤田先生（女性：臨床心理カウンセラー・月曜日担当） 高橋先生（女性：臨床心理カウンセラー・木曜日担当）
予約方法	メールでご予約ください。 メール s-counseling@o.kaiyodai.ac.jp

越中島キャンパス

場 所	越中島会館1階 学生相談室
日 時	水・金曜日 12:10～16:10 詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。
相 談 員	善積先生（女性：臨床心理カウンセラー・水曜日担当） 河崎先生（女性：臨床心理カウンセラー・金曜日担当）
予約方法	保健管理センターでご予約ください。 1. 保健管理センター窓口にて 2. 電話 03-5245-7357（保健管理センター事務室） 3. メール e-hoken@o.kaiyodai.ac.jp

本学の学生相談体制について



お知らせ

就職支援体制について

キャリア支援センターでは学生への支援として開催している「就職ガイダンス」、「企業説明会」及び「公務員試験対策講座」の実施、職業観の涵養を目的とした企業による業界セミナー及びエントリーシート添削・面接対策などの個別就職相談を更に充実させるとともに、学生の就職に対する意識の向上を促し、教学と学生支援の協働を緊密に行い進路支援体制の強化を図っています。

学部生対象のキャリア教育としては、インターンシップへの参加を意識させることにより、様々な形での社会からのニーズに触れ、学生が自分のキャリアデザインに資する機会を設けています。学部で開講する「キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ」の科目は、キャリア開発に関する講義や産業界で活躍する人材をゲストスピーカーとして招くと

ともに、学部の特色に応じた社会的な情勢を学生に伝え、キャリア形成に向けた動機付けを高める内容となっています。

また、特に大学院生に特化したキャリア教育としてはキャリア相談等の支援体制を充実させ、特任教員によるキャリア開発に関する講義や企業や団体の第一線で活躍する方を講師に迎えて実施する「高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ」の開講などにより、キャリア開発支援に取り組んでいます。

就職支援システム「海洋大キャリアナビ」をご利用ください。



国立科学博物館および国立美術館の利用について

本学は、「国立科学博物館 大学パートナーシップ」および「国立美術館キャンパスメンバーズ」に加入しております。

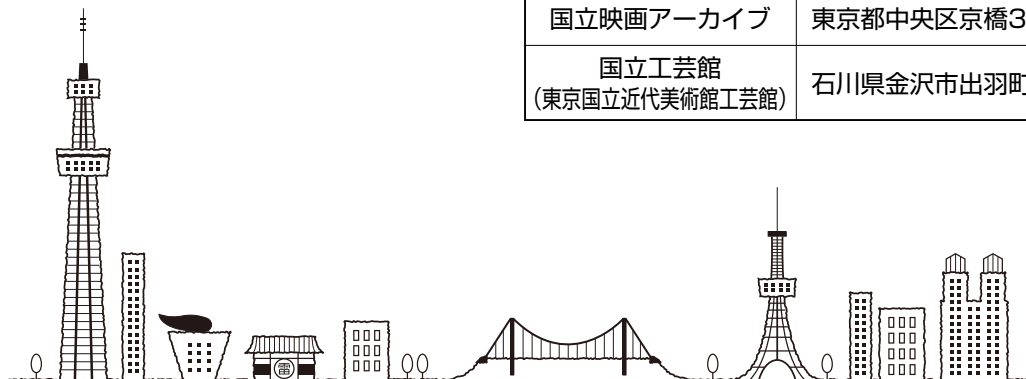
◆国立科学博物館 大学パートナーシップ利用可能施設

施設名	住所
国立科学博物館(上野本館)	東京都台東区上野公園7-20
附属自然教育園	東京都港区白金台5-21-5
筑波実験植物園	茨城県つくば市天久保4-1-1

本学の学生証を提示することで、下記施設の常設展が無料で利用できるほか、特別展・企画展を割引料金で鑑賞できるなどの特典があるので、ぜひご利用ください。

◆国立美術館 キャンパスメンバーズ利用可能施設

施設名	住所
東京国立近代美術館	東京都千代田区北の丸公園3-1
国立西洋美術館	東京都台東区上野公園7-7
国立新美術館	東京都港区六本木7-22-2
国立映画アーカイブ	東京都中央区京橋3-7-6
国立工芸館 (東京国立近代美術館工芸館)	石川県金沢市出羽町3-2



緊急時連絡システムについて

(さくら連絡網)

1. 緊急時連絡システムとは

本学のすべての学生・教職員と緊急時に連絡をとるためのメール・LINE・アプリによる配信システムです。

- ①台風・地震等の自然災害やインフルエンザ流行等による**緊急の休講等**を連絡します。
- ②**災害時の安否確認**や健康状態の収集手段としても使用します。
- ③その他、掲示板で告知するお知らせの中で緊急性があり重要と判断するお知らせ等の連絡をします。

2. 登録方法

携帯電話・スマートフォン等の携帯端末や自宅PC等の**複数のメールアドレス（4件まで）、LINE、アプリ**も登録できます。**必ず登録してください。**

3. 登録手順

(1) さくら連絡網登録用QRコードまたはURLにアクセスします。

QRコードはこちら →



URLはこちら → <http://390390.jp>

URLを直接入力した場合は、
認証コードの入力を求められます。
認証コード：204 441 4

(2) 連絡を受け取りたい方法を**【LINE】**、**【アプリ】**、**【メール】**から選びます。（※ 3種類とも登録できます。）

(3) **【LINE】**を選んだ場合

- ①LINEの友だち追加ボタンから登録（追加）します。（トークから登録開始）
- ②認証コード：204 441 4を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

【アプリ】を選んだ場合

- ①さくら連絡網のアプリをインストールします。
- ②アプリを起動して、認証コード：204 441 4を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

【メール】を選んだ場合

- ①登録用メール送信画面に切り替わるので、そのまま送信します。（※メール本文は変更しないでください。）
- ②さくら連絡網からメールで登録用のURLが届きます。
- ③URLにアクセスして、登録画面からIDとパスコードを入力します。

(4) メニュー画面（以下、マイページといいます）が表示されたら登録完了です。

4. メール受信時の注意

- ①緊急時連絡システムは、メール、LINE、を受信者が開封したかどうかの確認ができるシステムです。
また、アンケート形式で安否確認を行う場合もあります。
受信した場合は、必ず開封し、内容を確認した後、指示に従って回答して下さい。
- ②登録用メールが届かない場合は、ドメイン指定受信に「school-i.net」を追加登録してください。
- ③マイページ (<https://390390.jp/parent/menu>) をブックマーク（スマートフォンの場合はホーム画面に追加）しておく、後日、メールアドレスの変更等を行う際に便利です。また、簡単ログイン設定をしておく、次回からワンクリックでマイページにアクセスできます。
- ④配信先の変更を希望する場合やアドレス自体を変更した場合は、マイページのメニューの「連絡先を追加」から新し

い連絡先を追加するとともに、「登録情報確認」から古い連絡先を削除してください。

- ⑤ログインID、パスコードは、各自で管理して下さい。（入学時に配布します。）
- ⑥パスコードを紛失した場合は、以下の問合せ先へご連絡ください。
- ⑦緊急時連絡システムは、大学からの送信専用アドレスです。
上記のアンケート形式での回答以外は、大学側では内容の確認ができませんのでご注意ください。

5. 個人情報の取り扱いに関して

緊急時連絡システムにご登録いただいたメールアドレス等、個人情報に関しては本学個人情報保護規則に則り厳正な取り扱いをいたします。また、上記の目的に限り使用し、他の目的で使用することはありません。

EMERGENCY CONTACT SYSTEM

“さくら連絡網 (SAKURA RENRAKUMOU REGISTRATION)”

What is the Emergency Contact System?

The purpose of this system is to contact students, professors and university staff members by email in the following cases:

1. to inform them when classes are suddenly canceled due to a natural disaster (typhoon, earthquake), a flu epidemic or other reasons
2. to gather information about the safety and health of university members after a disaster
3. to disseminate urgent and important information displayed on the university's notice boards

How to register

Please register multiple mail addresses (up to Four) or LINE or other apps from mobile terminals such as mobile phones, smart phones, and home PCs in order to confirm sure and prompt correspondence from the university in an emergency. Please be sure to register.

Registration process

1. Access the QR code or URL for Sakura Renrakumou Registration.

QR code



URL

<http://390390.jp>

* If you enter the URL directory, “authentication code” will be required.
authentication code: 204 441 4

2. Choose the method by which you would like to receive information from the university: “LINE,” “app” or “Email.”

* You can also register all three.

3. If you choose **“LINE”**,

- ① register (add) from LINE's Add Friends button. (i.e., start from the “Talk” page).
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

If you choose **“app”**,

- ① Install the Sakura Renrakumou app.
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

If you choose **“Email”**,

- ① the page moves to the sending registration mail screen; please send an email.
*Please do not change the body of the mail.
- ② receive the registration email from Sakura Renrakumou.
- ③ access the URL and enter the ID and passcode on the registration screen.

4. Registration is completed when the menu screen is displayed.

Notes

- The system is configured to detect whether recipients have accessed their messages. It is also used to gather information about the safety of the registered community through questionnaires. When you receive it, please ensure that you open the message and reply according to the instructions.
- If you fail to receive the registration form after sending the registration email, please check your mobile phone's spam filter settings. Add the domain name school-i.net to your list of authorized contacts.
- Add the system login page (<https://390390.jp/parent/login>) to your bookmarks to easily access your email and passcode settings.
- Manage your ID and passcode carefully, and make sure that you change your passcode after logging in for the first time. (ID and passcode is distributed at the time of enrollment)
- To change your delivery settings, register a new email address.
- If you forget your passcode, contact the responsible section using the contact details below.
- The system is a send-only address. The university cannot receive emails sent to this address.

Privacy policy

Email addresses and other personal information registered on the system are strictly protected according to the university's privacy policy. The system is used exclusively for the purposes stated above.

Contact

General Affairs Department, General Affairs Division
Email: so-soumu@o.kaiyodai.ac.jp Tel: 03-5463-0354

重要!

ネットワーク障害防止のための注意事項

キャンパス内で、ネットワーク停止が頻発しています。
研究室内の配線の点検をお願いします。

ループ状にケーブルを接続しない

ケーブルの両端をネットワーク機器に接続すると、出口のない通信パケットがネットワーク内で増大し、フロア全体や建屋全体が通信不能になるなどの重大な障害が引き起こされます。利用しないケーブルは機器から取り外してください。



古いハブ、壊れた LAN ケーブルを使用しない

古くなったプラスチック製のハブ(HUB、Switch)は、熱暴走等でフロア全体の通信障害の原因となることがあります。壊れた配線やコネクタの損傷も通信トラブルの原因になる場合があります。導入後の年数や破損状況を確認し、適宜、買い替えましょう。

→**金属製ケースのハブがオススメ**です。放熱に優れ、安定して長く使えます。
詳しい型番などは下記窓口にお問い合わせください。

研究室内のルータの設定・接続を正しく行う

研究室で個別に設置したブロードバンドルータ、無線 LAN ルータの DHCP 機能の誤設定により、フロアや建屋全体での通信障害につながる場合があります。ネットワークケーブルが正しく接続されているかを点検してください。

→**「WAN」「LAN」を間違えると障害が発生します!**

古い OA タップの使用、定格電流を超えた使用や、タコ足配線は**火災の原因**になりますので、注意してください。



注意

PC は最新の状態にアップデートしてください

OS の脆弱性を狙ったウイルスによる情報漏えい被害が世界的に報告されています。利用している OS やウイルス対策ソフトを常に最新の状態を保つようにしてください。私有のノート PC でも、大学配布のウイルス対策ソフトをインストールすることができますので、是非活用してください。

Windows XP、Vista、7、8、8.1、Mac OSX、macOS の古いバージョンは、メーカーサポートが終了しています。これらの OS をお使いの場合は速やかに最新の OS に更新してください。現在利用可能な OS は、Windows 11、Windows 10、最新バージョンの macOS です。

PC 等を廃棄する際はデータの消去をしてください

廃棄するパソコン等からの情報流出を防ぐため、ハードディスク、SSD 等の記録媒体の破壊装置、消去装置を利用してください。下記窓口にお持ちください。

情報システムに関する全学問合せ窓口

メール ict-support@o.kaiyodai.ac.jp 内線 0446

附属図書館(品川) 1階事務室内 (担当: 全学 ICT サポート)

Important!



Precautions for Preventing Network Failure

Network outages occur frequently on campus.
Check the wiring inside the research office.

Do not connect the cable in a loop (as in the picture.)

Connecting both ends of a cable to network equipment can cause serious obstacles. For example, communication packets without an exit increase within the network, making the entire floor or building unreachable. Remove unused cables from the equipment.



Do not use old hubs or broken LAN cables

An old plastic hub (HUB, Switch) may cause communication failure of the entire floor due to thermal runaway. Damaged wires and connector damage may also cause communication trouble. Check the years of use and state of damage and replace as necessary.

→ A hub with a metal case is recommended. It is stable, long-lasting, and provides excellent heat dissipation. For a detailed model number, contact the Inquiry Center given at the bottom of this page.

Set up and connect the router in the office correctly.

Misconfiguration of the DHCP function on the broadband router and wireless LAN router individually installed in the offices may lead to communication failure on the floor or the entire building. Check that the network cable is properly connected.

→ If "WAN" and "LAN" are confused, network failure will result! Use of old OA taps, use exceeding the rated current, and use of power strips **may cause fire**. Beware.



Caution

Optimize your PC with the latest updates



Information leakage due to viruses targeting OS vulnerabilities is reported worldwide. Make sure that the operating system and antivirus software you are using are kept up to date. Even on a private notebook PC, you can install the university-distributed antivirus software. Take advantage of it by all means. Manufacturer support has ended for Windows XP, Vista, 7, 8, 8.1 Mac OS X, and old versions of mac OS. Update to the latest OS promptly if using these OS. The currently available OS are Windows 11, Windows 10, and the latest version of mac OS.

Delete data when discarding a PC, etc.

To prevent information leakage from discarded personal computers, etc., use data destruction and erasure devices for recording media such as hard disks and SSDs. Please bring them to the following counter:

Information System Inquiry Center

Email ict-support@o.kaiyodai.ac.jp Extension 0446

TUMSAT Library (Shinagawa) Office, first floor

悪質な就活商法に関する注意喚起

各大学で、学生に対して就職活動を支援するためのセミナー等を企画し、高額な参加費を徴収する団体による被害が発生しています。

なお、参加費が無料である場合も注意が必要です。そのセミナー等がカルト団体の勧誘窓口となっている場合があります。

本学においても、近年、そのような団体に入会して脱退する時に苦労した事例や、学内において強引な勧誘行為があったとの相談が寄せられた事例があります。

就活イベントの会場周辺では就活生の不安につけ込み、親しげに声をかけ就活商法の勧誘を行う者がおり、安易に氏名や携帯番号を教えている就活生も多いようです。

セミナー等の就活商法については、安易に個人情報伝えることのないようご注意ください。国民生活センターに



よると、就活商法の被害相談は、毎年100件を超えているそうです。

「被害に遭った」「意に反して強引に勧誘された」等の場合、遠慮なく〔相談窓口〕へご相談ください。

(品川) 学生サービス課学生生活係

(越中島) 越中島地区事務室学生支援係



東京海洋大学校友会のご案内

Q1.「東京海洋大学校友会」とは何ですか？

本学は、2017年4月の新学部設立を機に国内における唯一の海洋系総合大学として体制を強固にしました。今後、社会全体に強くその存在をアピールしていくため、2018年4月、全学的に「校友」同士の交流を活発化させ、本学の発展に寄与することを目的として、「東京海洋大学校友会」を発足しました。

Q2.「校友」とは誰ですか？

東京海洋大学および東京水産大学、東京商船大学等前身校の卒業生、在学学生、在学学生・卒業生の保護者、教職員の皆さまです。ホームカミングデーや各種イベントなど、「校友」限定の企画をし、「校友会ホームページ」や「校友会メルマガ」でご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

Q3.「校友会ホームページ」とは何ですか？アカウントはいつ貰えますか？

SNS機能、校友会メルマガ、公認課外活動団体ポータルサイトや会員限定動画サイトなど様々な機能を備えた「校友」限定ホームページです。「校友」の皆さまには個別アカウントを配布しております。**(登録及び会費は無料です。)**



海洋大の「今」が分かるコンテンツを少しずつ充実させています。令和4年度より試行的にInstagramも開始しました。ぜひ、実際に使ってみてください。



(校友会ホームページ) QRコード

【アカウント取得方法】

- 在学学生の方：大学メールアドレス（～@edu.kaiyodai.ac.jp）宛にID・パスワードを送付済みです。不明な場合は、再送も可能ですので、お気軽に校友会事務局にお問い合わせください。
- 卒業生・保護者の方：校友会ホームページの「新規登録」ボタンから、ぜひ申請をお願いいたします。（校友会事務局で内容を確認後、ID・パスワードを送付します。）

★★★ご卒業を控えた方へ★★★

【重要】ご卒業後も引き続き利用いただけるようにするため、卒業前に「連絡用メールアドレス」の変更をお願いいたします。※初期設定の大学メールアドレスは、卒業後に使用できなくなります。（ログイン後の画面「右上⚙️(設定)」>「プロフィール」>「プロフィールを編集」>「連絡用メールアドレス」)

また、本学卒業生を支援する同窓組織として「楽水会」「海洋会」があります。本学卒業生との強固なネットワークを築いておりますので、ぜひご加入ください。
楽水会：<http://rakusui.or.jp/>
海洋会：<http://www.kaiyo-kai.com/>

校友会に関する問合せ先：

東京海洋大学校友会事務局
電話番号：03-5463-4014
メールアドレス：koyukai@o.kaiyodai.ac.jp

掲 示 版

SNS、ツイッター、ブログ等の利用に関する注意事項

Facebookやツイッターに代表されるSNS（ソーシャルネットワークサービス）、あるいはブログなどを利用してはいると思いますが、インターネット上に書き込んだ内容は全世界に公開されることとなります。

転載・拡散された場合等には、長期間ネット上に残り、何らかのきっかけで問題となることがあります。SNSなどインターネットへの書き込み、写真や映像の掲載・投稿には十分注意し、個人情報は書き込まないようにしてください。

何か困ったことがあれば、周りの人に相談するようにしてください。SNSの公式サイトヘルプや問合せ窓口なども参考にしてください。

闇バイトに注意

SNSに投稿されたアルバイト情報の中には、犯罪の手伝いをさせられるなど、危険なものも潜んでいます。怪しげな情報にだまされないよう注意してください。「#裏バイト」「#高額バイト」等のハッシュタグがいっぱい並ぶ投稿は、誰がどう見ても怪しく、雇用主や仕事内容の記載がなければ無視し、関心を持つのは危険です。好条件をエサに接触を待つ、勧誘目的で友達申請をする等、悪意の仕掛けはさまざまです。友人・知人が発信した情報でも、また聞きや再投稿の可能性があります。安易な連絡は絶対にやめてください。詐欺の受け子等は使い捨て、見つかって逮捕されることや、犯人グループとトラブルになるケースもあります。手っ取り早く稼ぎたい、スリルを味わいたいという気持ちで罪を犯すことのないよう十分注意してください。

薬物の乱用について

薬物の乱用は、本人の精神と身体に危害を及ぼします。また、友人や家族関係の崩壊にもつながるなど、本人だけでなく、社会全体に計り知れない影響をもたらします。このため、薬物の所持や使用は法律で禁止されており、違反者は厳罰に処せられます。

薬物に対して安易な気持ちや一時的な興味で接することのないよう十分注意してください。

盗難に注意

下記の事項を守り、自己管理を徹底してください。

- ・貴重品は、できる限り大学には持参しないでください。
- ・やむを得ず所持する場合は、各自でロッカーに鍵をかけて管理してください。
- ・鍵は安易に解錠出来ないもの（ダイヤル式など）を選んでください。

悪質商法等に注意

消費者契約等に関するトラブルが増加しています。うまい話には要注意です。少しでも疑問を感じたら契約しないでください。また、身に覚えのない請求などは支払わないでください。

訪問販売や電話勧誘販売など、特定の取引の場合に、一定期間内ならば理由を問わず解約できるクーリング・オフ制度があります。もしも被害に遭ってしまったときは消費生活センターに相談してください。

カルト団体等の偽装勧誘に注意

キャンパス内において、自らが宗教団体であることを名乗ることなく、サークル活動や自主ゼミと称し、特定の反社会的なカルト団体に引き込まうとする「偽装勧誘」の事例があります。

声を掛けられておかしいなと感じた場合はキッパリと断り、安易に電話番号、メールアドレス等を交換しないでください。また、不審な団体と感じたとき、あるいは勧誘活動を受けた場合は、学生生活係、学生支援係まで知らせてください。

飲酒についての注意事項

(1) 未成年者の飲酒は法律で禁止されています。

アルコールには麻酔作用があるので、未成年者が飲み方や適量もわからず無理に飲むと、急性アルコール中毒を起こしやすいといわれています。もし、誰かに勧められても、きちんと断ることが大切です。

(2) 飲酒の強要は絶対にしないこと。

20歳未満やお酒に弱い方にお酒を強要することは絶対にしないでください。

(3) 飲酒運転は厳禁です。

「道路交通法」では飲酒運転のほか、飲酒者への車両の提供、運転者への酒類の提供、飲酒運転の車への同乗についても禁止されており、厳しい罰則が課せられます。

